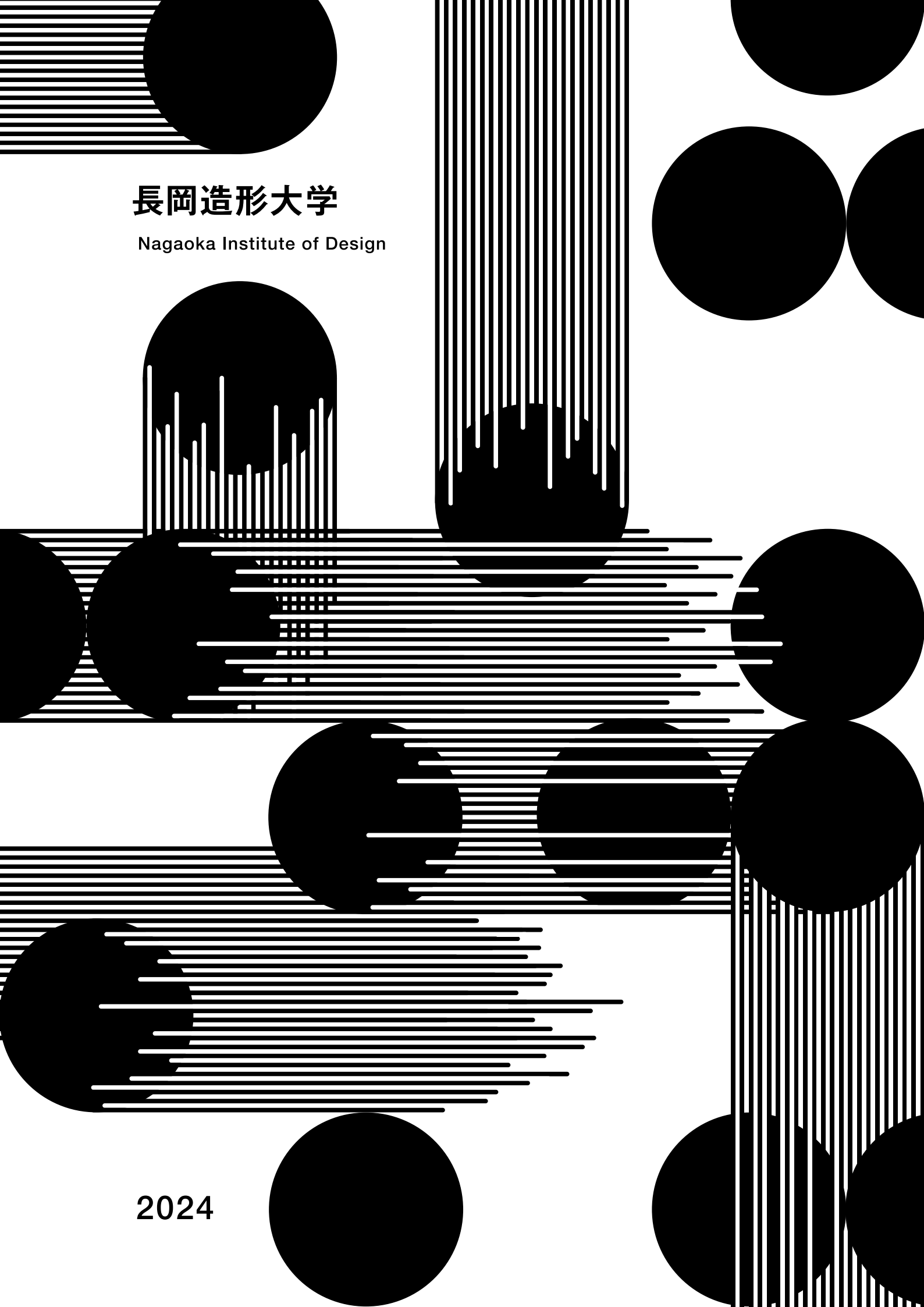


The background of the entire page is a complex abstract pattern. It consists of numerous solid black circles of varying sizes scattered across the white space. Overlaid on these circles and the background are several sets of parallel lines. Some are horizontal, some are vertical, and some are grouped together in a way that suggests a sense of depth or movement. The lines vary in length and density, creating a dynamic and modern aesthetic.

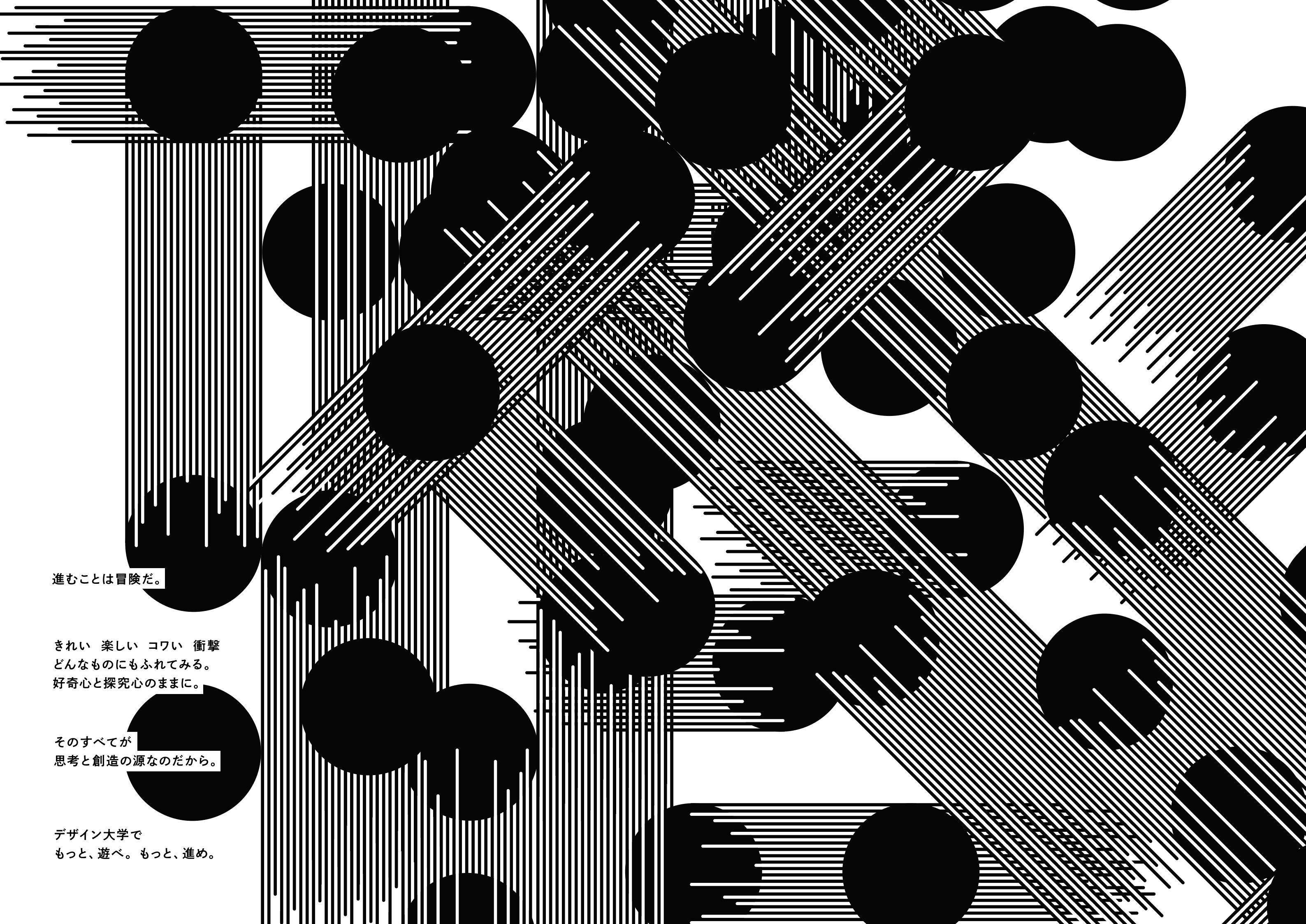
長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design

2024

進もう、全方向へ。

GO EVERYWHERE.

The background is a complex, abstract pattern. It features numerous black circles of varying sizes scattered across the white space. Overlaid on these circles and the background are dense, parallel white lines. These lines are oriented in various directions: some are horizontal, some are vertical, and many are diagonal, creating a sense of movement and depth. The lines often appear to pass through or around the circles, creating a layered effect.

進むことは冒険だ。

きれい 楽しい コワイ 衝撃
どんなものにもふれてみる。
好奇心と探究心のままに。

そのすべてが
思考と創造の源なのだから。

デザイン大学で
もっと、遊べ。もっと、進め。

デザインで、 もっといい世界を作ろう。

学長
メッセージ

建学の理念

造形を通して真の人的豊かさを探求し、
これを社会に還元することのできる
創造力を備えた人材を養成する

世の中を見ると、デザイナーの活躍領域はどんどん拡大しています。企業、行政、地域活動など全てにデザインの考え方が使われ始めているのです。デザインの出発点は、問題点の発見にあります。それに対してモノづくりが必要なのか、人間関係の構築が必要なのか、組織や社会の人の動きを変えるべきなのか。様々な要素を考慮し、課題解決につなげていく力がデザイナーに求められています。

長岡造形大学は、全学科が「デザイン」の大枠の中にあるめずらしい大学です。デザインの考え方を学ぶ。それは世の中にある問題を見つけ、周囲を巻き込みながら解決に導くことであり、豊かで幸せな社会をつくる大きな力となります。

2023年にスタートした新たな長岡造形大学は、これからのデザインの方向性をより象徴しています。新しく始まったカリキュラムでは、次の5つの力*を身に付け、変化する社会をデザインで切り拓くことができる人材の養成を目指していきます。

- ものごとの本質を捉え、創造するための「観る力」
- 思いをかたちにするための「つくる力」
- 思いを共有し、協働するための「聴く力」と「伝える力」
- 変化や多様性に対応できる知識・技能をそなえた「専門力」
- 人、社会、自然及び倫理観を支える幅広い「普遍的な教養」

こういう社会にしたい。人の役に立ちたい。そう思ったら、それはデザインへの入り口です。きっかけやアイデアは至るところにあります。たくさんの人とコミュニケーションをとりながら、やりたいことを具現化するために、ここ長岡造形大学で大いに挑戦してください。

* 「建学の理念」に基づき、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示す5つの力



長岡造形大学 学長

馬場 省吾 Baba, Shogo

1957年、埼玉県大宮市（現さいたま市大宮区）生まれ。
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。
1994年、長岡造形大学開学と同時に着任。
専門分野は金属工芸 鍛金。

学長
動画
メッセージ



長岡造形大学
デザイン教育のふたつの柱

創造

豊かな感性、発想力と確かな造形力、表現力によって、
美しいもの、魅力的なもの、独創的なものを生み出す力を育みます。
また、アイデアやイメージなどを見る化し、
解決策をカタチにする力を育みます。

思考

問題の発見、問題の定義、解決策の提案、
試行・試作、検証、実現というプロセスによって、
新たな価値を創り出す力を育みます。
また問題解決プロセスを創造的に企画・調整し、
推進する力を育みます。





目次

学長メッセージ	4
4年間の流れ	10
造形学部は3学科	11
NIDの特色	12
受賞	18
学科紹介	
デザイン学科	30
美術・工芸学科	42
建築・環境デザイン学科	50
NID Campus Life 学生の生活	58
施設	60
学生団体（部・サークルなど）	61
大学周辺施設	62
授業料等	63
オープンキャンパス	63
学生サポート	64
都道府県別学生数	65
進路	66
主な就職実績	68
2023年春から働く卒業生	70
大学院	72
教員紹介	74
入試情報	78
NIDへのアクセス	

4年間の流れ

卒業認定・学位授与の方針

ディプロマ・ポリシー

長岡造形大学造形学部は、造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成します。

この実現のために、次の能力を身に付け、学則に定める卒業要件を満たした者に、卒業を認定し、学士（造形）の学位を授与します。

5つの力

- ものごとの本質を捉え、創造するための「観る力」
- 思いをかたちにするための「つくる力」
- 思いを共有し、協働するための「聴く力」と「伝える力」
- 変化や多様性に対応できる知識・技能をそなえた「専門力」
- 人、社会、自然及び倫理観を支える幅広い「普遍的な教養」

様々な基礎を丁寧に学ぶことからスタート、そのうえで専門領域の知識・技術を幅広く身に付けながら、それぞれが軸足となる専門性を見だし、実践の中でその専門性を高めていきます。

4年間をかけて、変化する社会をデザインで切り拓く5つの力の獲得を目指します。

Step 1

学部全体でデザインの基礎を学ぶ

- 1年次前期は、学部全体で「つくる」と「考える」の基礎に向き合う。
- 人間形成やデザインに必要な教養を広く学ぶ。
- 学びの目標やプランを明確にする。

Step 2

専門領域の知識・技術を幅広く身に付け軸足となる専門性を見いだす

- 1年次後期から、専門領域に関する知識・技術を幅広く修得し、軸足となる専門性を見いだす。
- 2年次から地域や社会と協働し課題の解決を目指すプロジェクト等に挑戦する。

Step 3

実践的な授業を通じて専門性を高め自らの課題に対して応用的に取り組む

- 2年次後期からは、見いだした軸足をもとに、能動的な学びを通して専門性を高める。
- 3年次からは、様々な課題に対して応用的に取り組む。
- キャリアプランを明確にする。

Step 4

これまでに学んだ専門性を統合し集大成として卒業研究に取り組む

- 4年次は、これまでの知識や技能を統合し、卒業研究として広い視点から専門性を探究する。

それぞれの進路へ

造形学部は3学科

造形学部

デザイン学科

プロダクトデザイン、テクノロジー×デザイン、視覚デザインの広い領域の中で、自主的に分野を選択し学ぶことにより、時代とともに変化し多様化する社会で、高い専門力をもとに柔軟に対応できるデザイナーの育成を目指します。

領域：

プロダクトデザイン
テクノロジー×デザイン
視覚デザイン

美術・工芸学科

デザインに通底する「美」の根本を支える美術とクラフトデザインの2領域7分野で構成しています。各分野の専門性を軸とし、これからの社会に必要な共感力を持ち、能動的に考え、革新性をもったクリエイターの育成を目指します。

領域：

美術
クラフトデザイン

建築・環境デザイン学科

人と社会からの視点と、自然や環境からの視点の両視点からデザインを捉え、確かな技術力を身に付け、次の時代が求める豊かでしなやかなハートを持ったデザイナーの育成を目指します。

所定の単位を修得することで、一級・二級建築士の受験資格を取得することができます。

領域：

建築・環境デザイン

大学院 造形研究科

「何をどうつくるのか？」を超えて、デザインや表現の根源を理論的・実践的に探究します。既存の枠組みにとらわれず、一歩先の未来を見据えた「新しい価値を創造する力」の修得を目指します。

修士課程

博士（後期）課程

つくる、考える NIDは基礎から面白い

NIDの
特色



基礎造形演習

造形活動の基礎力の修得

あらゆる造形活動の基礎となる「観る」「描く」「つくる」を、デッサンや色彩・立体構成などの演習課題を通して学びます。この「基礎造形演習」は1年次前期の午前中に実施し、ものの見方や考え方、捉え方、造形を学ぶ上での基本的マナーや丁寧な仕事を身に付けていきます。五感を用いて試行錯誤し、確かな造形基礎力を身に付けることで、その後の専門性を最大限に高めていくことができます。後期は学科ごとに領域を踏まえた軸足を見いだす基礎演習で、学科で必要とされる基礎知識・技術を学びます。

コンピュータ基礎Ⅰ・Ⅱ

コンピュータを用いた表現技術の獲得

各学科の1年次に実施する「コンピュータ基礎」では、前期に基本的なコンピュータ操作から、Illustrator、Photoshopなどのグラフィックソフトの基本技術を学びます。後期は、各学科の特性に合わせて専門性を考慮したグラフィックソフトやCADなどの技術を学びます。

発想・着想概論、発想・着想演習

考え、解決につながる力を身に付ける

自由に発想・着想することを学びながら「デザインすること」の意義や役割について考え、問題やニーズの抽出方法、他者との関わりを通じてその解決につながる方法を1年間を通して身に付けます。

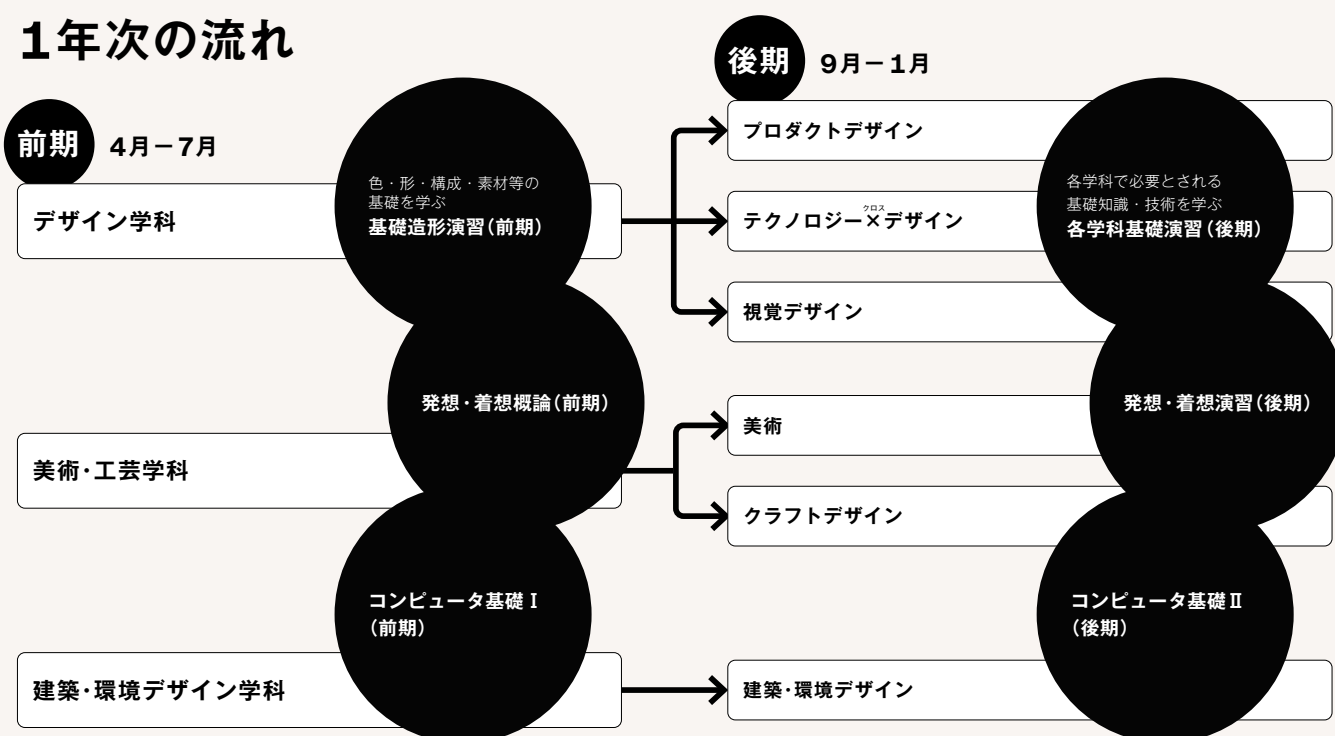
NID造形概論、教養科目など

引き出しを増やすための知識を広げる

1年次前期から、教養科目など様々な講義を通してデザインに必要な人、社会、自然、倫理観を俯瞰的に捉え、幅広い知識を身に付けていきます。



1年次の流れ



デザインを実践的に学ぶ プロジェクト

NIDの
特色

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



01

MAKINDO

学生作品で空き空間を
地域交流の場に変える

MAKINDOは本学の学生による作品の制作と販売を通じて空き空間を活用し、地域を元気にすることを目指して取り組んでいるプロジェクトです。学生たちは「作品の制作・販売・展示・ワークショップ」「空間・店舗づくり」「仕組み・つながりづくり」の領域でプロジェクトを立ち上げ「この指とまれ方式」で仲間を集め活動しています。2020年から200人以上の学生が参加し、9,000人以上との地域交流を実現しており、学生起業者がいる点等が評価され、2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

「The ニュー」 ガラスアップサイクル プロジェクト

02

リユース酒瓶にデザインで
新たな付加価値を

本学には地域社会や企業等と協力して行う地域協創演習（学科、学年の垣根を越えて履修）という授業があります。そのプロジェクトのひとつとして、「The ニュー」というガラスアップサイクルプロジェクトを行いました。アップサイクルとは、本来は捨てられる廃棄物に、デザインなどの新たな付加価値を与えて再生することで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせることです。リサイクルのように製品を「原料」に戻すのではなく、元の製品の「素材」をそのまま活かす手法です。

このプロジェクトでは、新潟県内で多く使用されるリユース酒瓶（四合瓶 720ml）に、学生が絵付け・加工・パッケージデザインを行い、新しいクラフトタンブラーを誕生させました。アップサイクルされたカラーガラスは、オリジナルのデザインと手仕事の温もりが詰まった逸品で、長岡市のふるさと納税の返礼品となりました。



地域すべてが
学びの場

実社会の課題に真正面から向き合うことで磨かれる、コミュニケーション力、考察力、行動力 etc. 地域で学ぶ経験は、世界をデザインする力に変わります。



03

長岡芸術工事中

長岡のまちをアートで彩る

本学学生による実行委員会が、長岡悠久ライオンズクラブや長岡市の協力を得て開催するイベントで、在学生や卒業生、地域で活動する方々と共にプロジェクトを企画し、長岡をアートで彩ります。
9回目となった2022年度は、長岡の中心市街地6会場を拠点に学生や卒業生が制作した、さまざまな分野の作品が展開されました。学生が出品するマーケットや、来場者がキーホルダーやブローチ作りを楽しめるワークショップ、ライブペインティングなど、来場者の方々とコミュニケーションを楽しみました。

04

リーンローンチパッド プログラム

ビジネスプランの作成からアイデアの事業化へ
起業を体験する

「デザイン思考」や「リーンスタートアップ」等、事業をゼロから実現するための手法を学び、ビジネスプランの作成からアイデアの事業化を目指すプログラムで長岡市内の学生を中心に参加しています。2022年度は本学学生が参加する他大学との混成チームがKDDI賞と最優秀賞を受賞しました。



2022年度 地域協創演習、ボランティア実習の紹介

長岡造形大学では実際に地域や企業などに関わりながら、デザインによる問題解決や社会への還元を経験してもらうために「地域協創演習」や「ボランティア実習」といった授業を行っています。

2022年度は下記のプロジェクトがあり、多くの学生がデザインをいかした問題解決に取り組んでいます。

日用品のデザイン提案（家庭内での情報可視化の試み）
カカシプロジェクト
コスモスのラビリンス
ニョロニョロの知らない世界（長岡高専とのコラボ企画）
地域おこし協力隊の準隊員になろう！
文具館長岡店NID売場構築
FM NAGAOKA メディアプロジェクト

Upcycle project「The ニュー」
ヨイタタンサケイカクnext
WE LOVE 錦鯉プロジェクト
越後みしま竹あかり街道2022
いいことをデザインする「かいしゃ」プロジェクト（4大学1高専コラボ企画）
Make A Wish 30周年記念事業プロジェクト
フェニックス花火ボランティア

学生が多くの賞を受賞しています

※ 2023年4月入学から「プロダクトデザイン学科」と「視覚デザイン学科」は統合され「デザイン学科」となりました。



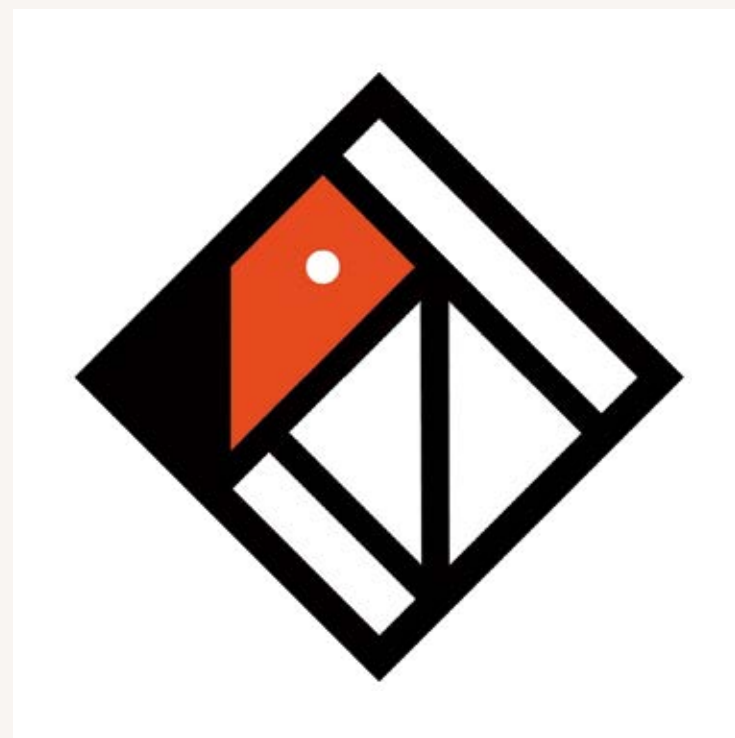
新聞広告部門 グランプリ

「放課後の来ない子どもたち」 テーマ：ヤングケアラー
秋田 優月 視覚デザイン学科 ※



テレビCM部門 優秀賞

「怒りのマグロヤンキー」 テーマ：海洋ゴミ
秋田 優月、白井 一都、橋本 琉希
視覚デザイン学科 ※
「危ないスイカ割り」 テーマ：オレオレ詐欺
情野 鈴花、永森 茜希、水脇 梨菜、権 曙熙
視覚デザイン学科 ※
「背負わされるもの」 テーマ：奨学金返済問題
糸数 佳音、佐々木 優那、齋藤 幸乃
視覚デザイン学科 ※



新潟県伝統工芸品 ロゴマーク募集

新潟県伝統工芸品ロゴマーク 最優秀賞

鈴木 葉南 視覚デザイン学科 ※
県鳥「トキ」と伝統の「伝」を掛け合わせたデザイン



グランプリ、技術賞 「はなまる屋」阿部 桃香 プロダクトデザイン学科 ※

米百俵 デジタルコンテスト 2022



にいがた地域情報化推進協議会賞 優秀賞 アプリサービス「OJIPATO」
阿部 明莉 視覚デザイン学科 ※



SN@P賞、優秀賞 受験期の親子の心を繋ぐ「KOMUSUBI」
鈴木 美羽 視覚デザイン学科 ※



サンスター文具賞 「けしころ」
藤原 佳菜 プロダクトデザイン学科 ※



第27回サンスター文具プレゼンツ 文房具アイデアコンテスト

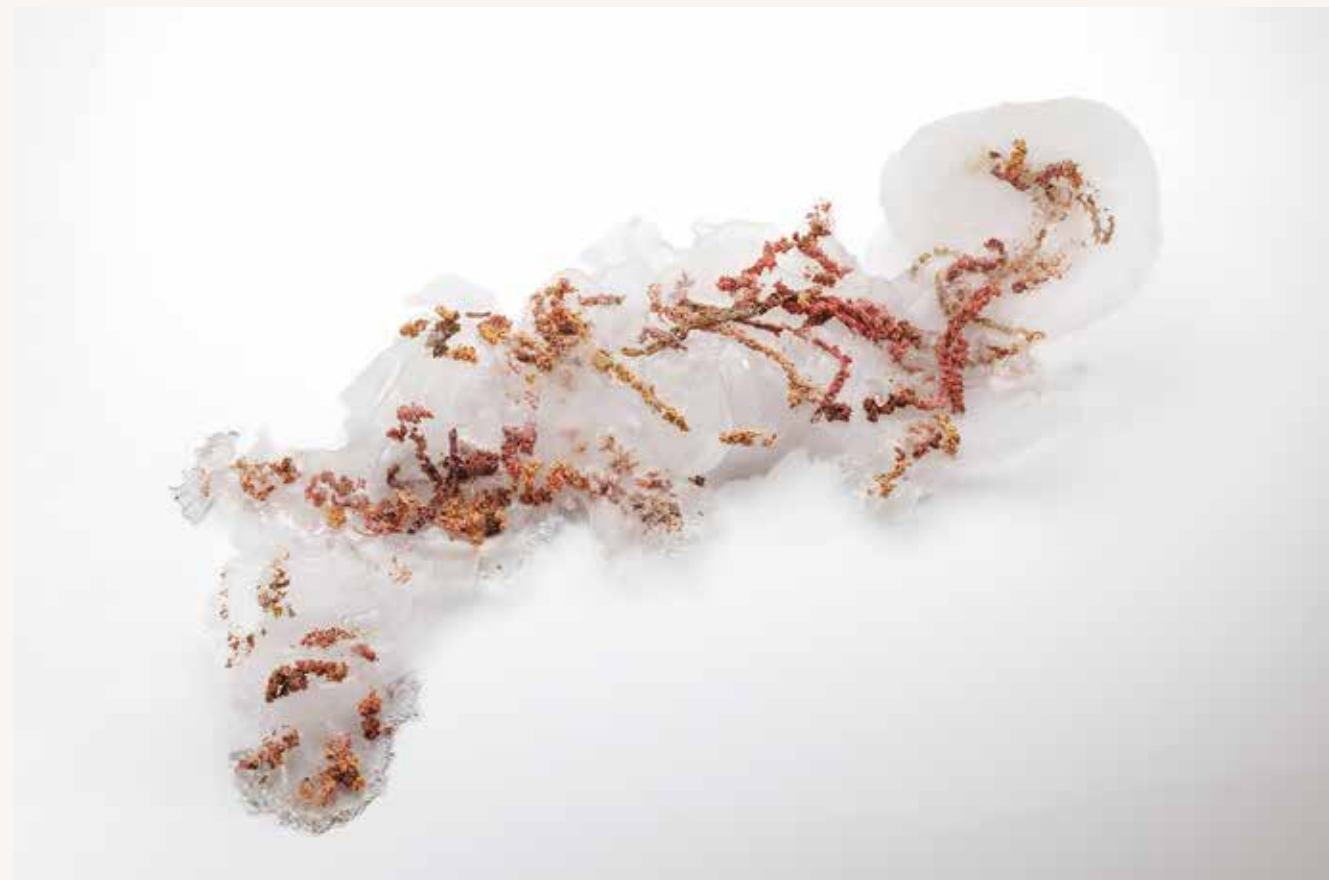
OJIPATOアプリでできること

「えちご想発xTECH」 ICTビジネスアイデアコンテスト 2022 in 新潟



新海賞（準会員推挙）
「告ぐ」 竹本 悠太郎 大学院博士（後期）課程

第96回国展



芸術工学会奨励賞

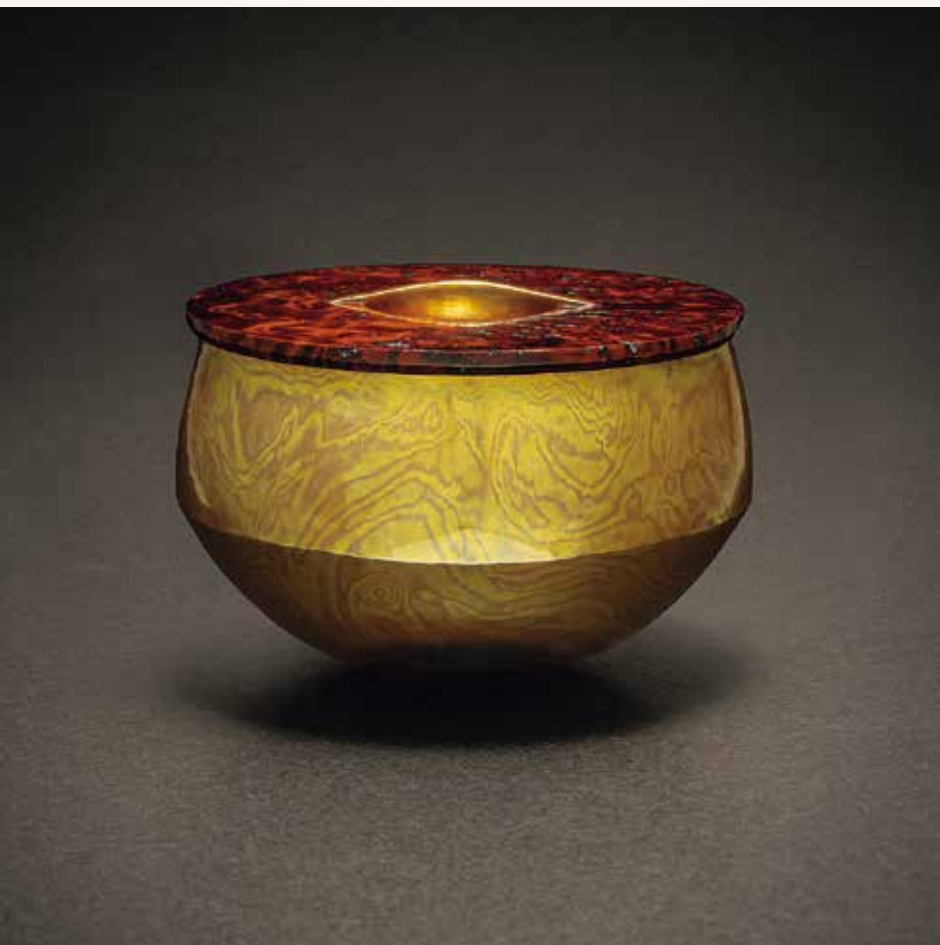
綿糸とガラスで感情を編み込む表現の研究

鈴木 沙保 大学院修士課程

1. 「溶ける」	1
2. 「砕ける」	
3. 「繋ぐ」	2 3
4. 「孕む」	4



2022年度
芸術工学会奨励賞



第50回 伝統工芸日本金工展

21+部門入選

木目金屋久杉拭漆蓋物「空合」

佐川 和暉 美術・工芸学科



第78回 現代美術展

最優秀賞、一般財団法人石川県美術文化協会会長賞、北陸放送社長賞

「明滅」 南雲 まぎ 大学院博士(後期)課程



工芸部門 新潟日報美術振興賞

「あまごい」 谷原 有咲 美術・工芸学科

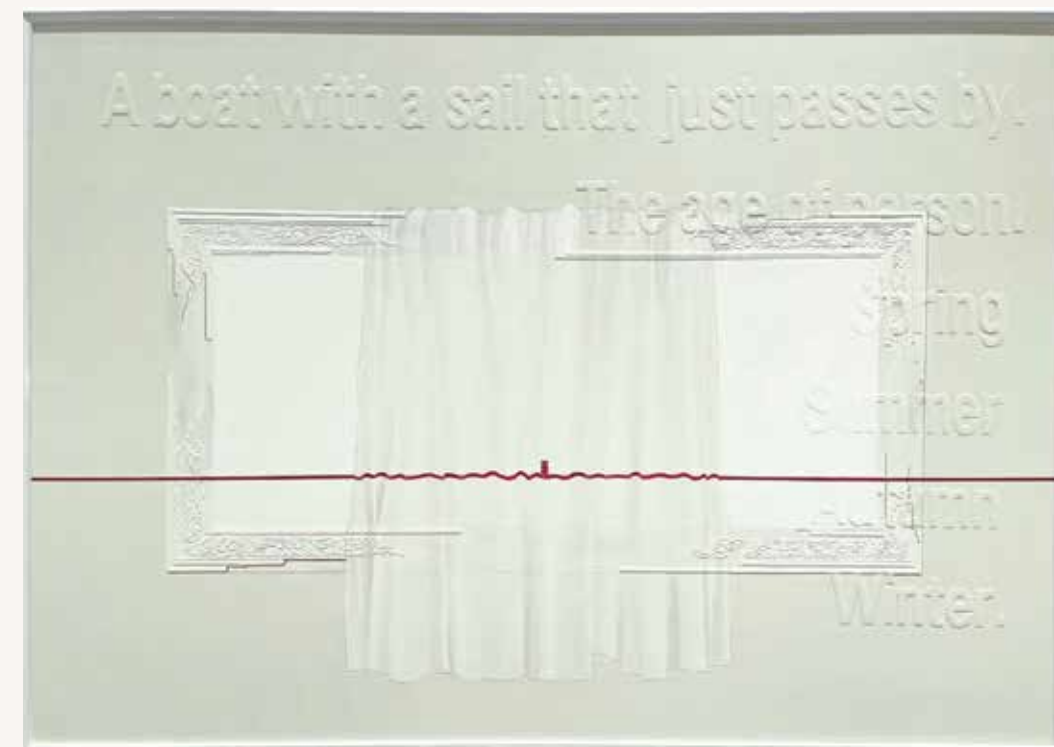


工芸部門 第60回記念賞

「鑄銅花器 逆さ紅葉」 阿部 瑞穂 美術・工芸学科

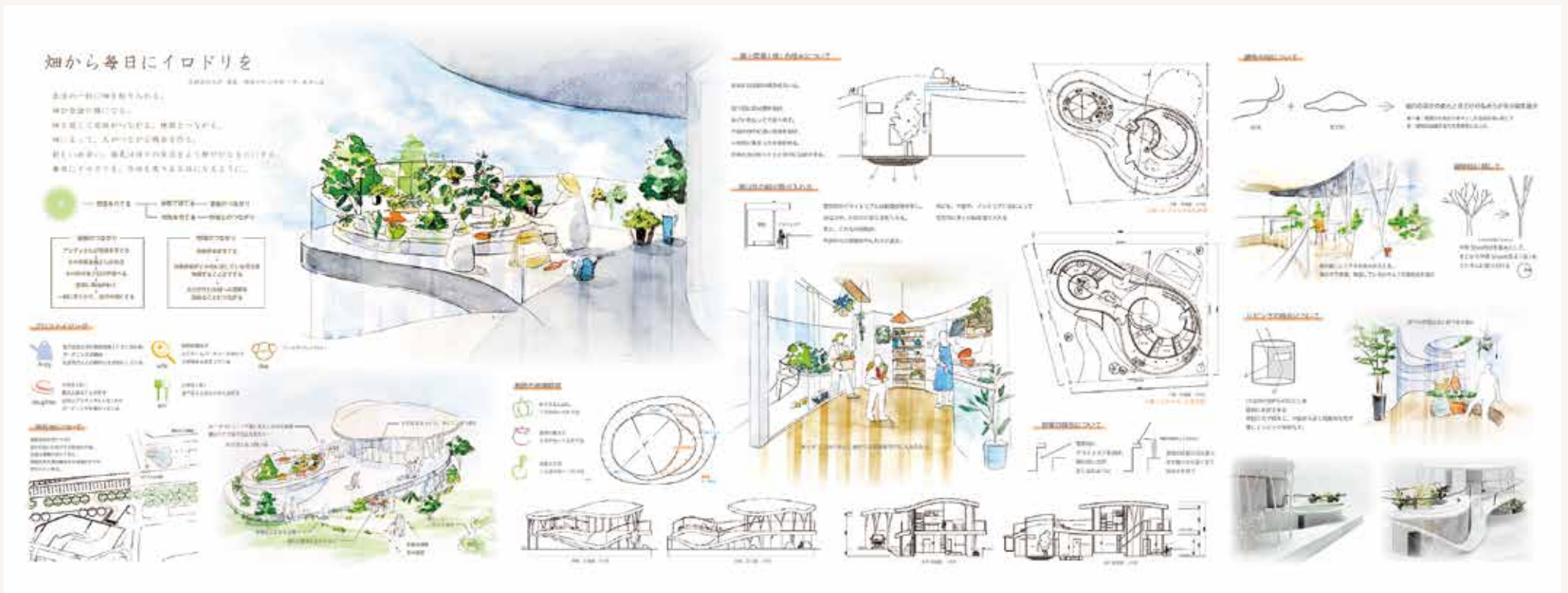
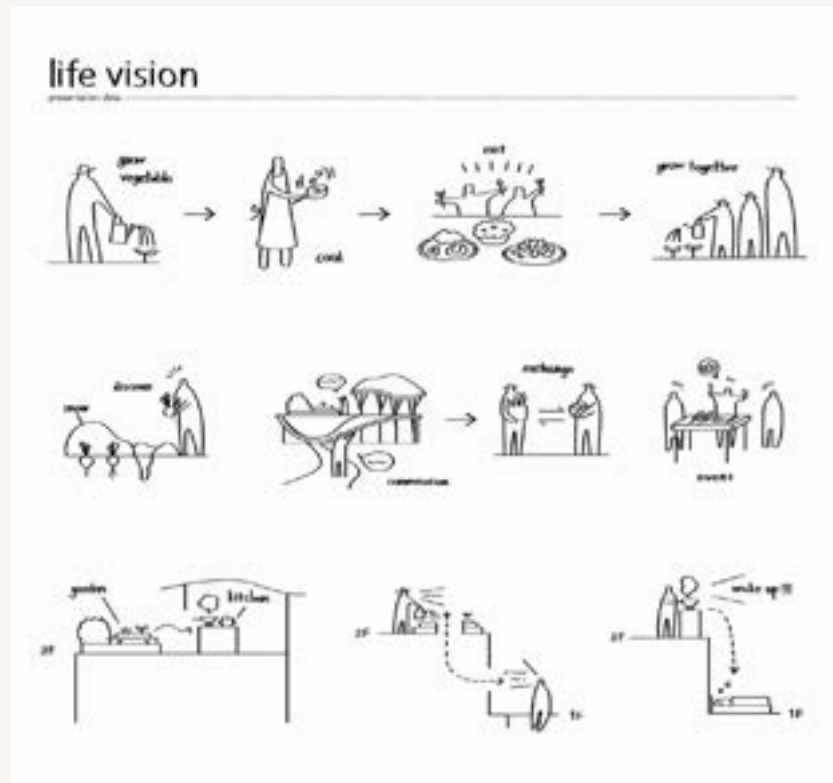
第76回 新潟県美術展覧会

第60回 長岡市美術展覧会



入選 「ベースライン」 鈴木 沙也加 大学院修士課程

明日をひらく絵画 第41回 上野の森美術館大賞展



銀賞 「煙から毎日にイロドリを」 永井 心美 建築・環境デザイン学科

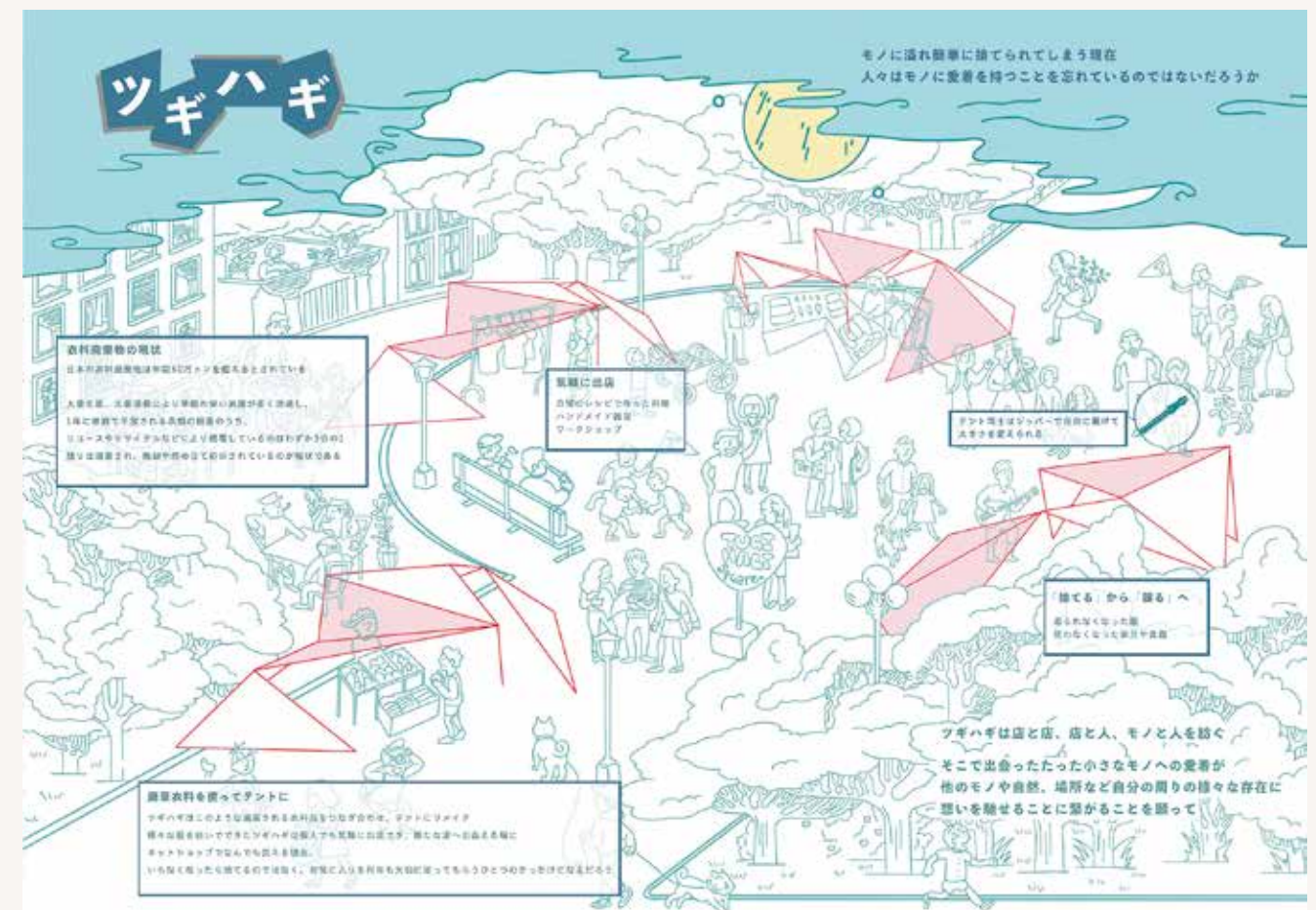
第17回 JIA 北関東甲信越 学生課題設計コンクール

全国合同卒業設計展 「卒、23」



最優秀賞 「あなたもなれる、ケンチキューバーに。 ～建築をひらくためのゲーム制作～」

林 飛良 建築・環境デザイン学科



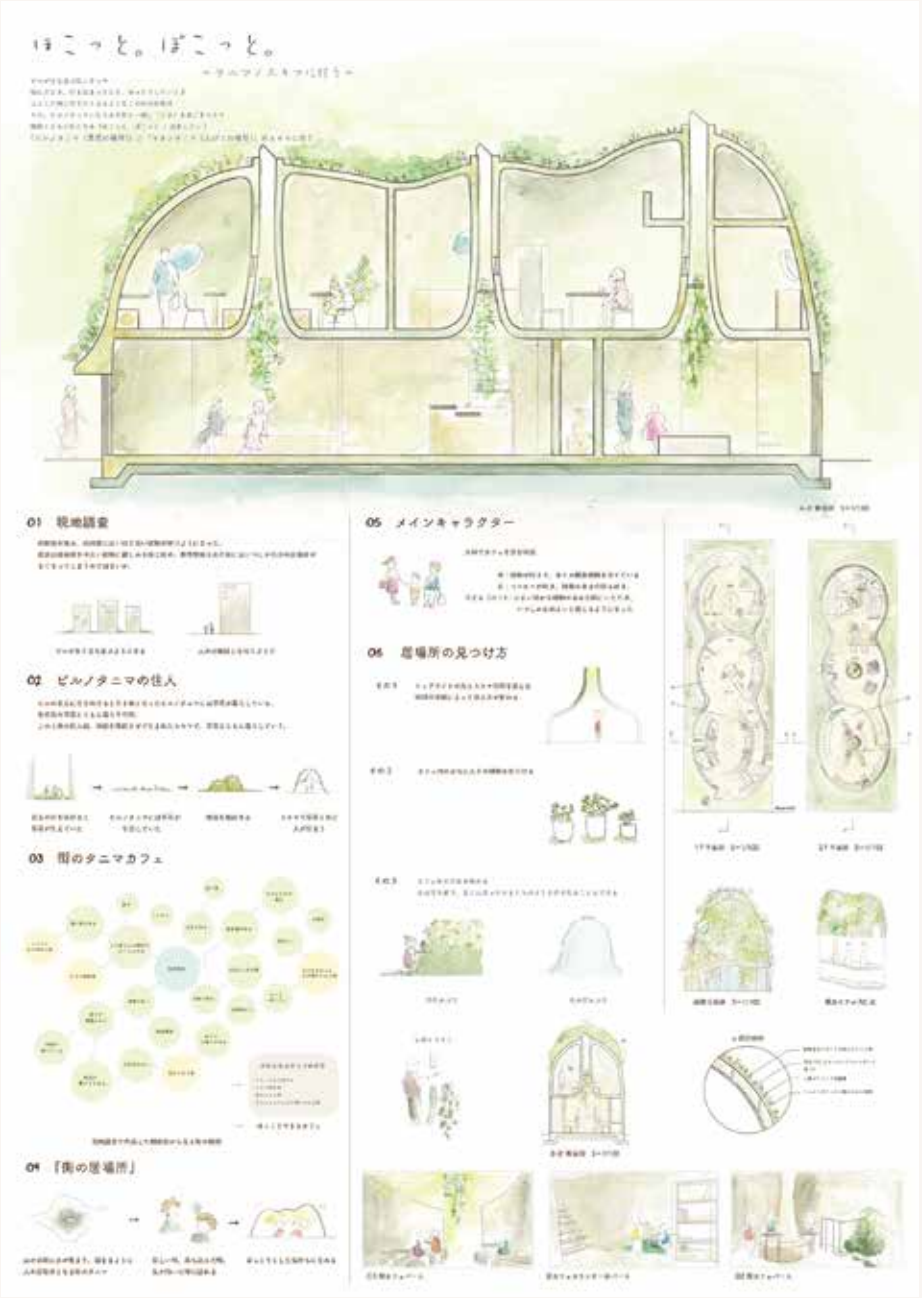
奨励賞 「ツギハギ」 佐々木 姫菜、森山 莉那 建築・環境デザイン学科

第20回 主張する「みせ」 学生デザインコンペ



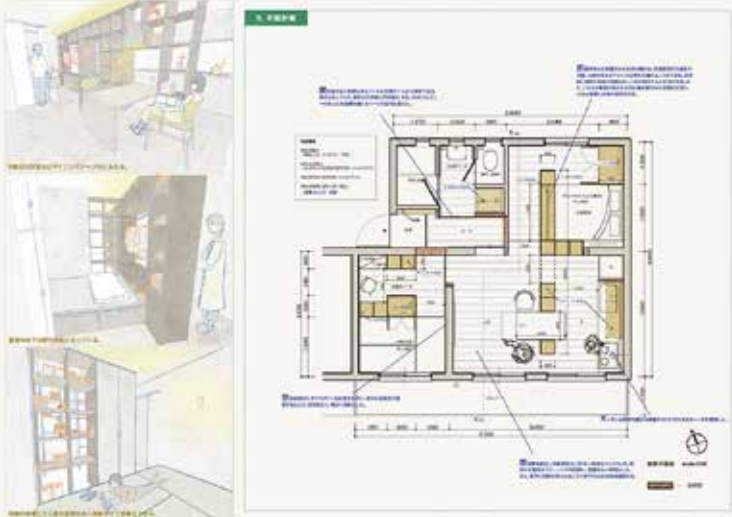
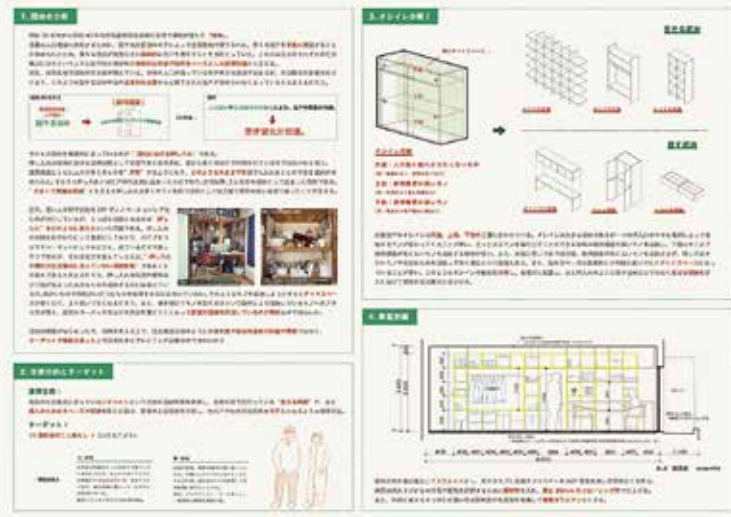
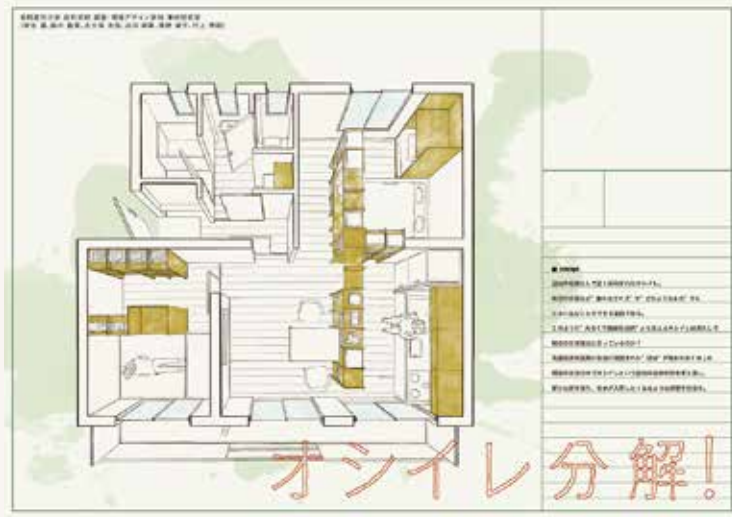
凸版印刷賞、入選 「Animal Crossing」 佐野 芽衣子、市村 ともか、杉谷 望来、中川 桜、原 陸
建築・環境デザイン学科

第62回 富山県デザイン展 学生建築 デザインコンペ



最優秀賞 「ほこっと。ぽこっと。」
高木 琴音 建築・環境デザイン学科

JIDF 学生文化デザイン賞 2023



大利根公社賃貸住宅 リノベーションアイデアコンペ

最優秀賞 「オシイレ分解！」
時吉 遼、鈴木 麗菜、大久保 未悠、北川 琳香、高野 瑞子、村上 莞和
建築・環境デザイン学科

デザイン学科

Department of Design



デザイン学科は、製品デザイン、テキスタイルデザイン、ファッションデザイン、映像、写真、グラフィックデザイン、イラストレーション、UI/UXデザイン、Web・アプリ、メディアアートなど幅広い分野から主体的に選択し学びます。

デザイン学科は、
プロダクトデザイン、
テクノロジー×デザイン、
視覚デザインの
3つの領域で構成されます。

プロダクトデザイン領域

カタチや機能だけではなく、そのモノのあり方や人や社会との関わりまでを考え提案するため、問題発見・解決及びアイデアを「カタチにするスキル」を身に付けます。また、テキスタイルを切り口とし、社会のニーズに適応したファッションやインテリアなどの布に関わるデザインを創造することを目指します。

テクノロジー×デザイン領域

デザインとテクノロジー、現代社会の中で必須とも言えるこの2つの要素。この2つを車の両輪のように学び、お互いを強め合います。デザインとそのアイデアを実現する仕組みを理解し「カタチに実装できるスキル」や「体験価値を高めるスキル」を身に付けます。まだ見たことのない新しい可能性を実現し提案する力の修得を目指します。

視覚デザイン領域

ものごとの本質を見極め、問題を解決する能力や多様なメディアに対応したヴィジュアル表現をコントロールする力を身に付けます。また、グラフィックデザインの知識や技術と感性を融合させ、社会に結びつけて展開することを目指します。

学べる分野

プロダクトデザイン領域

製品デザイン

産業機械

生活雑貨

テキスタイル
デザイン

モビリティ

情報機器

映像
インスタレーション

照明器具

リビング用品

ファッション
デザイン

家電製品

家具

デジタル
ファブリケーション

UI/UX デザイン

3DCG

テクノロジー×デザイン領域

メディアアート

体験型展示

Web・アプリ

モーション
グラフィックス

パッケージデザイン

インフォメーション
デザイン

エディトリアル
デザイン

アニメーション

視覚デザイン領域

グラフィックデザイン

映像

ブランディング
デザイン

写真

広告

ヴィジュアル
アイデンティティ

イラストレーション

コマーシャル



授業内容

デザインに求められる領域は拡大多様化し、
様々な状況に対応できる力が必要とされています。
広い領域の中で軸足をつくり、それをもとに
自ら選択して学び、高い専門力と
柔軟に対応できる能力を身に付けます。

1年次は、基礎造形演習、コンピュータ基礎、発想・着想概論、発想・着想演習を中心に、造形を学ぶ上での基本的マナーや丁寧な仕事、ものの見方や考え方、捉え方等を総合的に身に付けるため、「つくる」と「考える」の根源をーから学びます。また、デザイン概論や教養科目を通して、デザインが包含する分野の広がりを理解し、1年後期から履修する「デザイン基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の領域別課題選択に備えます。

2年次後期からは、専門分野ごとに設定するスタジオで実践的に学ぶ「スタジオ演習」が始まります。スタジオ演習は3年次後期まで続き、自らの軸足をもとに、課題を選択しながら学びを進めます。各スタジオの課題は、専門分野に特化したものから複合分野で構成する課題まで多岐に渡り、学年を重ねるごとに、自らの課題に対して応用的に取り組んでいきます。

そして4年次には、これまで学んだ知識や技能を統合し、集大成として1年間の「卒業研究」に取り組み、4年間の学びの成果として取りまとめます。

デザイン学科は、幅広い分野の豊富な教員が授業担当や研究指導を行います。4年間を通して、多様性、専門性、応用力を身に付けられることが、NIDのデザイン学科の特徴です。

専門教育の流れ

デザイン学科	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	・スポーツ論理学 ・長岡学 ・英語Ⅰ ・英語アドバンスⅠ	・保健体育講義 ・統計学 ・情報リテラシー論 ・生物学 ・英語Ⅱ ・英語アドバンスⅡ	・社会心理学 ・日本文化論 ・現代社会論 ・社会起業	・美術論 ・文化人類学 ・デザインと持続可能性 ・科学技術論 ・創作に係る倫理と知的財産 ・AI・データサイエンス概論	・プロフェッショナル	・哲学	
専門教育科目【学部共通】	・基礎造形演習 ・NID造形概論 ・発想・着想概論	・発想・着想演習 ・色彩学	・キャリアデザイン				
第1区分	・日本美術史	・美術・工芸概論 ・西洋美術史 ・形態デザイン論	・美術解剖学 ・現代芸術論	・美術・工芸特別講義	・美術原論	・認知科学	
第2区分	・デザイン概論 ・プログラミングⅠ	・人間工学 ・プログラミングⅡ	・メディアビジネス概論	・デザイン特別講義 ・デザイン思想論 ・ユーザーインタフェースデザイン論 ・マーケティング論 ・広告論	・デザイン感性工学 ・サインデザイン概論		
第3区分		・建築・環境デザイン概論	・インテリア ・空間安全論 ・文化財学概論 ・緑地環境計画 ・建築史Ⅰ	・居住論 ・建築・環境デザイン特別講義	・博物館概論		
第4区分			・地域協創演習A ・地域協創演習S ・ボランティア実習A ・インターンシップA	・地域協創演習B ・ボランティア実習B ・インターンシップB	・地域協創演習C		
専門教育科目【学部共通】 デザイン学科	・デザイン概論 ・コンピュータ基礎Ⅰ	・デザイン基礎演習Ⅰ ・コンピュータ基礎Ⅱ	・デザイン基礎演習Ⅱ ・デザイン要素技術 ・デザイン史	・スタジオ演習Ⅰ ・デザイン特別講義	・スタジオ演習Ⅱ	・スタジオ演習Ⅲ	・卒業研究Ⅰ・Ⅱ（通年）
	・プログラミングⅠ	・プログラミングⅡ ・3DCAD演習 ・プロダクトスケッチ演習	・フィジカルコンピューティング ・3DCG演習 ・タイポグラフィⅠ ・描写 ・写真基礎 ・アニメーション基礎	・スクリーンメディアデザイン ・ファッション・プロダクト基礎 ・タイポグラフィⅡ ・生産技術論 ・サウンドデザイン	・コトバのデザイン ・テキスタイル・ファッションコンピュータ演習 ・パッケージデザイン演習 ・ポートフォリオ		

※下線は必修科目

領域をもとに授業内容を選択し、自らの軸足を決めていきます。

プロダクトデザイン領域



テクノロジー×デザイン領域



視覚デザイン領域





田中 里奈
 「Reframe」
 人のスタイルに応じて再構築できる持続的な家具の研究



金子 明日香
 「Kasane — 祖父母に贈るオーディオ —」
 シニアの方に向けたオーディオの提案



坂部 奈々美
 「No Sunny Day」
 「雨」の暗さに隠れている美しさを天候に左右されることなく常に表現することを可能にする



尾和 優多
 「Hack_action!!!」
 自分とSNSの関係をメディアアートとして表現する研究



益田 優加
 「into one object」
 美しく収納できる食器セットの提案



中山 創意
 「組み合わせる家電 cubomit」
 ミニマリストのための新しい家電



船木 優菜
 「Sparkle Sleeps」
 ショートフィルム



三浦 誉人
 「しあわせな人生」
 スーパーでの買い物、ロマンチックな時間にする絵本



小森 香乃
 「ENCOUNT」
 デベイズマンの手法を用いたグラフィック表現の研究

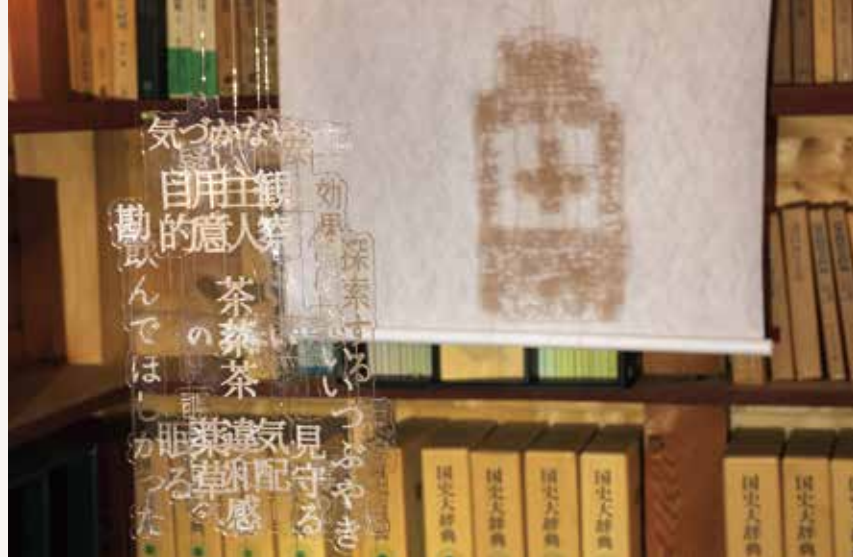


三嶋 真理子
 「Rohot」
 機能的価値にとらわれない親しみやすいロボット



卒業研究の詳細は Web サイトへ
<https://sotsuten.nagaoka-id.ac.jp/>

井上 紗来
「未定の結末」
経験や価値観によって異なる読書体験



石塚 桜
「頭遊び」
人体表現に拘った3DCGアニメーションの研究



金井 彩月
「こととこと」
見方と言葉の道しるべ



窪田 泰一
「Assemblage — DINO —」
ファッションとアートの共存 サステイナブルファッションの新たな見せ方
—シン・エス・アート—



高橋 香穂
「Glassphic」
銀紙の折り目をを用いた質感表現のグラフィック研究



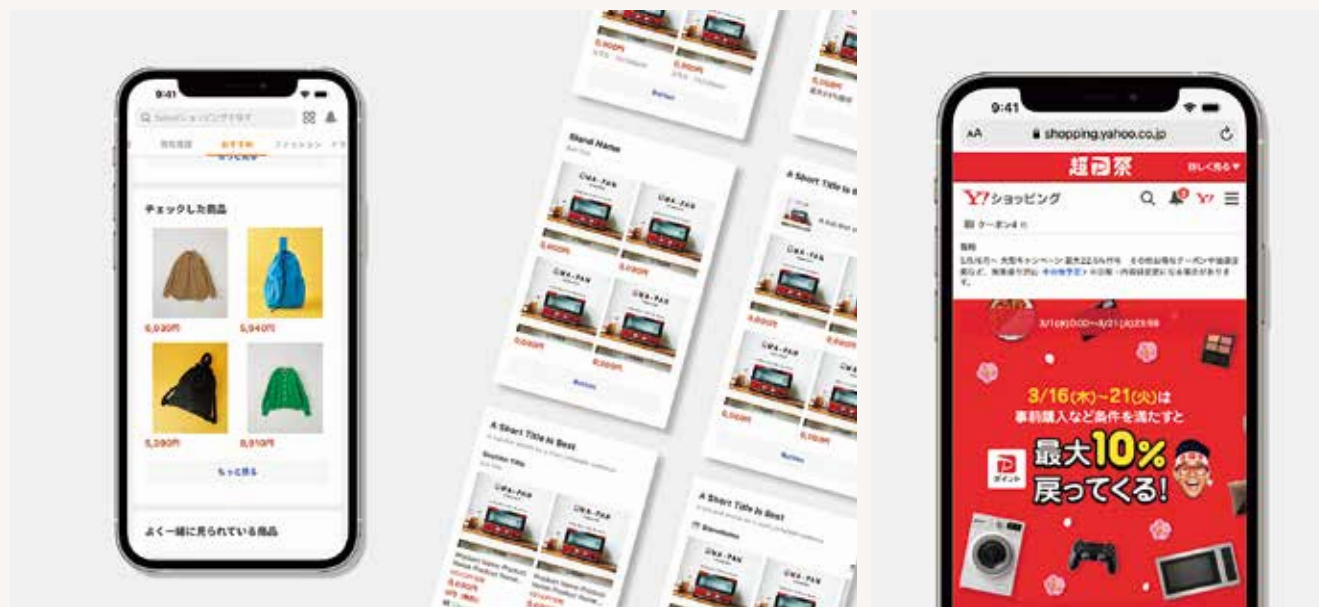
井口 晴人
「オーシャンマン」
特撮ヒーローによる魅力ある昭和の演出



伴 菜智
「逆行」
漫画特有の表現を取り入れたアニメーションの研究



川邊 彩海
「小豆島オリーブ専門店おとなりや」
小豆島オリーブの魅力を広めるショップブランドの提案



現在の仕事内容

Yahoo!ショッピングのデザイナーとして、UI/UXデザインやセールのグラフィック制作を行っています。
また、サービス内のデザインシステム運用にも関わっています。

仕事のやりがい

2022年の10月にYahoo!ショッピングがリニューアルした際に、TOPページのレコメンドモジュールのデザインを担当させていただきました。リリース後に以前と比べて、とても見やすくなったと言われた時は嬉しかったです。制作する際に1px, 2px単位でずらしてみたりして、バランスを調整した甲斐がありました！

古沢 菜月 Furusawa, Natsuki

ヤフー株式会社

出身学校：燕中等教育学校（新潟県）
卒業学科：視覚デザイン学科



1	
2	3

1. 担当サービスのYahoo!ショッピング
2. サービス間でデザインの統一感が出るように制作している共通モジュールをよりシンプルにわかりやすくリニューアルしました。
3. 超PayPay祭のセールページの看板グラフィックを制作しました。



現在の仕事内容

主にノートパソコンのハードデザインを担当しています。3Dデータの作成から、量産に向けた版下作成、各パーツの色確認、店頭に並ぶ紙カタログの作成、ホームページのレイアウト・画像作成など、担当した機種が世に出るまでのデザイン業務を一貫して行っています。

仕事のやりがい

担当した仕事が、たくさんの人の手を経て、製品として世に発表されること、そしてその製品が実際に使用されて、誰かの生活や仕事を支える存在として受け入れられる、壮大なスケールに責任感とやりがいを感じます。

堀 志織 Hori, Shiori

富士通株式会社

出身学校：上田染谷丘高等学校（長野県）
卒業学科：プロダクトデザイン学科



1	
2	3
4	

1. LIFEBOOK UHシリーズ（14型 世界最軽量ノートパソコン）：筐体デザインを担当。ユーザビリティを一切犠牲にせず、軽さを追求する本機種の課題であったデザインオリティの向上に寄与しました。
- 2, 3. 同UHシリーズ：カタログデザイン、ホームページデザインまで一貫して担当。最大の特長である軽さと、新色「FrostGray」の魅力を伝える紙面づくりにこだわりました。
4. LIFEBOOK U7シリーズ（法人向けノートパソコン）：筐体デザインを担当。働く場所の変化に着目し、住空間にマッチする新色「WarmSilver」を選定しました。



現在の仕事内容

アプリ制作のUI/UXデザインを始め、Webデザインや冊子など、プロジェクトに関わるさまざまな媒体のデザインを担当しています。分野にとらわれることなく多様なデザインにチャレンジしています。

仕事のやりがい

なぜ、この機能を入れるのか。どうしたらユーザーが使いやすくなるか、など「なぜ」の部分からデザイナーが積極的に議論に入れるのが、やりがいだと思います。結果的には見た目だけにとらわれずにチームに貢献できるデザイナーになれていると思います。

久保 楓 Kubo, Kaede フラー株式会社

出身学校：長岡大手高等学校（新潟県）
卒業学科：視覚デザイン学科



1
2

1. dキッズ/©NTT docomo
子ども向け知育アプリ「dキッズ」のUI/UXデザイン（アプリ内のシール付与機能の企画・デザイン）、冊子制作を担当
2. 2023年度新卒内定証書/©Fuller, Inc.
2023年度に入社する新卒社員に贈る内定証書のデザインを担当



現在の仕事内容

2020年からフリーランスのカメラマンとして活動を開始しました。TVCM、ミュージックビデオ、Webムービー、ショートムービーなどの映像作品を中心に撮影しています。フォトグラファーとしても、アーティスト写真や広告など様々な作品の撮影を行っています。

仕事のやりがい

自分の撮影したものが世に出ることによって、知人や周りに喜んでもらえることが嬉しいです。特に、撮影の現場で機材などを使用する際、知識や経験が必要とされるなかで働けることは非常に緊張感があり、貴重な体験です。

永井 樹里 Nagai, Juri

Photographer / Director of photography

出身学校：松陽高等学校（鹿児島県）
卒業学科：視覚デザイン学科
受賞歴等：2020年度朝日広告賞 審査委員賞（写真賞）



1	4
2	3
5	

1. 朝日広告賞 審査委員賞（写真賞）
2. 個展「Moment Cut」
3. 作品「静物」
4. HONDA TVCM「楽まる」
5. スキンケアブランド「MAGNIFF」広告

美術・工芸学科

Department of Art and Craft



「美術」（絵画・版画・彫刻）や
「クラフトデザイン」（彫金・鍛金・鋳金・ガラス）を学べます。

学べる分野

美術・工芸学科では、
専門分野の探求を基盤としつつ、
絵画、彫刻、工芸分野を
幅広く学びます。
各分野の素材における特性や
表現方法を身に付け、
多様な社会に対し共感力
（エンパシー）を持った多彩な
表現をはぐくみます。



版画

版画は、複数印刷できることだけが価値ではありません。様々な素材にイメージを転写できるため、支持体の持つ特性を活かした作品を制作することも可能です。銅板やシルク布で作られた版を通すことで、思った通りの表現とは少し違った表情が作品に現れることも、魅力の一つです。



彫金

彫金^{たがね}は鑿という道具を用い「彫り」「打ち出し」「象嵌^{そうがん}」といった緻密な表現技法を継承してきた分野です。今日では先進的加工法や新素材による表現が加わりながら、伝統的作品からジュエリー、クラフト、アート作品と多岐にわたる表現が展開されています。



鋳金

鋳金^{たがね}は原型を基に鋳型を造り、その鋳型に溶解した金属を流し入れ、冷やし固めて金属造形物にするものです。本分野では蠟を用いて原型制作を行う「蠟型石膏埋没鋳造」の技法を軸に、ブロンズや真鍮、アルミニウムなどの非鉄金属素材を利用して、多彩な表現による作品制作を行います。



絵画

現代社会に溢れるさまざまなイメージ、その最も根源的な方法としての絵画についてそれぞれが自由に取り組みます。今日のスタイルでの描画やデジタル、古典技法などの作画方法を任意に選択し「何が絵画か」という問いに自らの方法を見つけて取り組み、その先の生きる礎となる実践として探求する分野です。



彫刻

彫刻の歴史、造形技術や表現手法を実践的に学ぶことはもちろん、自分の考えをもとに幾多ある素材・材料・手法の中でどのような表現を試み、自分以外の世界と通じていくのか、彫刻を主軸にもの・ことを捉え直し、問いかけを繰り返しながら制作を続けることで探っていきます。



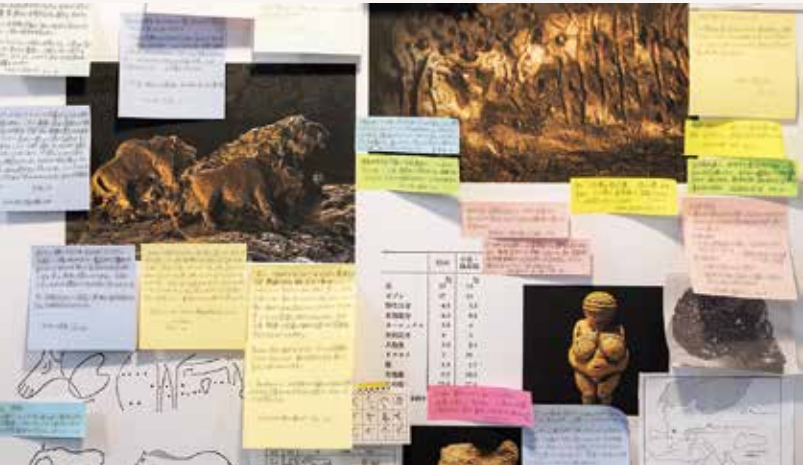
鍛金

鍛金では鍛起・絞り技法や鍛造技法などを主に学ぶことを目的としています。長岡市に隣接する燕市・三条市における「鍛起銅器」の技術は伝統工芸品にも指定されているものです。本分野では、これらの技法や知識に触れることで、多様な金属素材と技術を用いて自らの発想による作品制作を行う力を養います。



ガラス

暮らしを彩る器からアートまで、ガラスを使った幅広い表現を学びます。吹きガラス、切子、ガラス鋳造などの技法を経験する中で、自分と向き合い表現したいものを見つけるとともに、他者への視点も育みます。もろくてはかなく壊れやすいガラスだからこそ、人へのやさしさや、暮らしを豊かにする方法を考え、制作することを大切にしたいと考えるからです。また、エコの視点から注目されている、リサイクルガラス素材を使った作品づくりも行っています。



授業内容

専門分野を探究するだけでなく、
「手でものをつくること」（造形）を
ベースに、知識や技術を培います。

1 年次前期は全学科で行う「基礎造形演習」で基礎的な力を養います。後期は「美術・工芸基礎演習」により、各領域の素養に繋がる平面や立体制作における基礎的造形力を体得します。

引き続き 2 年次前期の「美術・工芸基礎実習Ⅰ」では、各分野の造形力や表現力を、実材と技術を通して修得します。幅広いものづくりを経験する中で、素材の特性を知り、組み合わせ、造形する力を蓄えつつ、各自の専門性を見極め、2 年次後期から「美術・工芸基礎実習Ⅱ」により、各分野の専門課程に入ります。

3 年次からは「美術・工芸演習Ⅰ」や「美術・工芸演習Ⅱ」による課題制作を通して、各専門分野の知識や技術をさらに高め、研究を深めていきます。ただ、他領域との横断が可能なのが本学科の利点。専門に捉われず自由に発想し、表現したいものに合った手段や素材を選び、作品づくりに励みます。

4 年次は各々が獲得した思考力や創造力、造形力を基盤として 1 年間をかけた卒業研究に進みます。

専門教育の流れ

美術・工芸 学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	・スポーツ ・論理学 ・長岡学 ・英語Ⅰ ・英語アドバンスⅠ	・保健体育講義 ・統計学 ・情報リテラシー論 ・生物学 ・英語Ⅱ ・英語アドバンスⅡ	・社会心理学 ・日本文化論 ・現代社会論 ・社会起業	・美術論 ・文化人類学 ・デザインと持続可能性 ・科学技術論 ・創作に係る倫理と知的財産 ・AI・データサイエンス概論	・プロフェッショナル	・哲学	
専門教育科目 【学部共通】	・基礎造形演習 ・NID造形概論 ・発想・着想概論	・発想・着想演習 ・色彩学	・キャリアデザイン				
第 1 区分	・日本美術史	・美術・工芸概論 ・西洋美術史 ・形態デザイン論	・美術解剖学 ・現代芸術論	・美術・工芸特別講義	・美術原論	・認知科学	
第 2 区分	・デザイン概論 ・プログラミングⅠ	・人間工学 ・プログラミングⅡ	・メディアビジネス概論	・デザイン特別講義 ・デザイン思想論 ・ユーザインタフェースデザイン論 ・マーケティング論 ・広告論	・デザイン感性工学 ・サインデザイン概論		
第 3 区分		・建築・環境デザイン概論	・インテリア ・空間安全論 ・文化財学概論 ・緑地環境計画 ・建築史Ⅰ	・居住論 ・建築・環境デザイン特別講義	・博物館概論		
第 4 区分			・地域協創演習A ・地域協創演習S ・ボランティア実習A ・インターンシップA	・地域協創演習B ・ボランティア実習B ・インターンシップB	・地域協創演習C		
専門教育科目 【学科共通】 美術・工芸学科	・コンピュータ基礎Ⅰ	・美術・工芸基礎演習 ・コンピュータ基礎Ⅱ ・美術・工芸概論	・美術・工芸基礎実習Ⅰ ・美術・工芸材料学	・美術・工芸基礎実習Ⅱ ・美術・工芸特別講義	・美術・工芸演習Ⅰ	・美術・工芸演習Ⅱ	・卒業研究Ⅰ・Ⅱ（通年）
		・プロダクトスケッチ演習 ・美術・工芸描画演習	・図法デザイン演習	・3DCAD演習 ・古美術研究 ・社会実践分析	・美術工芸史 ・パッケージデザイン演習		

※下線は必修科目

絵画



彫刻



金属工芸



ガラス



美術・工芸基礎実習Ⅰ

2 年生前期から、各分野専門の工房・アトリエに入り、実習授業が始まります。まずは大きく 4 つの分野（絵画・彫刻・金属工芸・ガラス）から 2 分野を選び、専門の基礎を学修します。そして、卒業まで関わる自身の専門分野を確定します。

美術領域の絵画と彫刻の授業では、各分野のアカデミックな技術と、現代まで繋がる素養を思考し、表現に向かう基礎的な地盤を整えます。

クラフトデザイン領域の金属工芸とガラスの授業では、「ジュエリー制作」という共通のテーマを持ち制作をしていながら、各素材のもつ特性の理解や歴史性の考察など、それらをつかう上での礎を築きます。



卒業研究の詳細は Web サイトへ
<https://sotsuten.nagaoka-id.ac.jp/>



佐藤 友香（銅金）
 「還る場所」
 銅金技法による椅子の制作



高橋 未早（修士課程修了作品）
 「calm」
 写真と版画による「リアリティ」表現についての研究



諏佐 あかり（絵画）
 「絵画の物質、物質の絵画。」



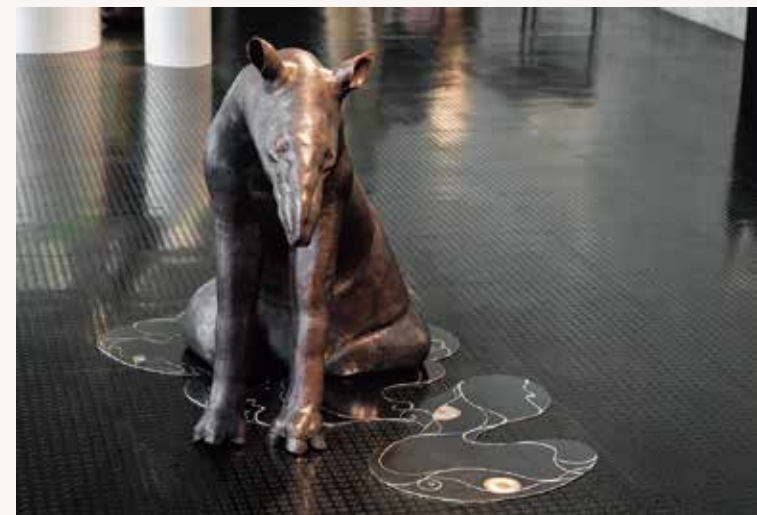
長井 良太（彫刻）
 「いつか忘れる」
 「変容」という行為から見る問いについて



畑 華純（ガラス）
 「跡」
 跡から感じる時間の流れとガラスの表現研究



遠藤 里桜（ガラス）
 「青の追想」
 ガラスを通じた自身の青春記憶の表現



谷原 有咲（鍛金）
 「melt into shadow」
 鍛金技法による現実と幻想の交錯の表現研究



佐川 和暉（鍛金）
 「春蕾」
 木目金技法による表現の研究及び花器の制作



藤井 薫（彫刻）
 「エビマア」
 魚+人鳥=アマビエ…エビマア



吹田 萌佳（彫金）
 「Agglass」
 蒼鉛（ピスマス：Bi）による表現研究



渡邊 芽衣（修士課程修了作品）
 「composition」
 仮想身体の表現 版画技法を用いた作品制作について



現在の仕事内容

建築現場や木工作家等から提供された木の廃材を活用して実物大の生きものを制作しています。ほかに、展示イベントの開催、水族館や新潟県内外の商業施設での作品展示及びワークショップ、教育機関での講演会やワークショップ、新番組アニメーションPR用作品の受注制作も行っています。

仕事のやりがい

展示イベントで普段出会えない方との出会いと交流が嬉しい出来事です。さらに、出会った方々から感動や驚きの声を頂き、廃材の可能性を感じてもらえることを実感することで、活動の意義を再認識しています。この活動は、日本に留まらず、世界へ発信していく心構えて、今後も精力的に取り組んでまいります。

加治 聖哉 Kaji, Seiya

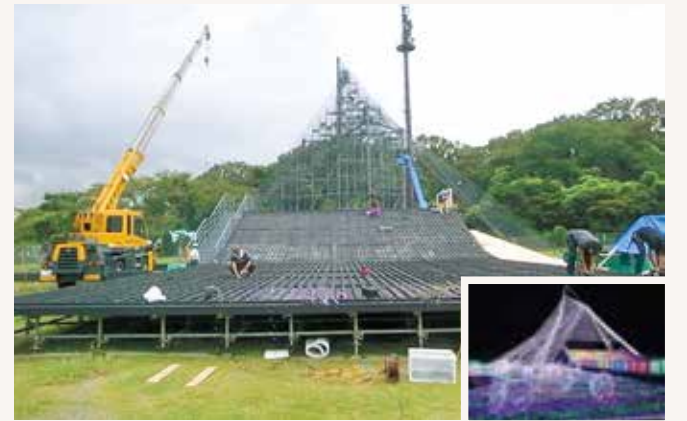
廃材再生師 アーティスト

出身学校：村上桜ヶ丘高等学校（新潟県）
卒業学科：美術・工芸学科
受賞歴等：大地の芸術祭 2022 出展 等



1
2 3 4

1. 「神籬」山と岩の神様の憑代として制作
2. 展示イベント開催時の様子
3. 作品制作に使用している廃材
4. 大地の芸術祭 2022 展示の様子



現在の仕事内容

建築鉄骨の製図、溶接や仮組みなどの工場加工、現場など、鉄骨に関わるほとんどのことを行っています。建物は小さいもので看板から、大きいものだと10階建てのビルや学校など幅広く手掛けています。仕事が暇なときは会社の設備を使って自主製作もしています。

仕事のやりがい

会社の皆さんは、確かな技術と豊富な経験をもっています。私はそれらをどう盗み、どう活かしていくか、いつも考えています。まだまだ、つたないながらも、お客様や上司から製品の出来栄えを評価されると、自分の成長を実感することができ、それがモチベーションに繋がっています。

谷口 清 Taniguchi, Kiyora

株式会社丸鐵工房

出身学校：旭川商業高等学校（北海道）
卒業学科：美術・工芸学科



1
2 3

1. 工場加工 溶接
2. 建て方現場 柱
3. テーマパークの電飾架台

建築・環境デザイン学科

Department of Architecture and Environmental Design



建築・環境デザイン学科は、建築、都市計画・まちづくり、インテリア、ランドスケープ、文化財保存・活用を学ぶ学科です。

学べる分野



建築

住宅や公共施設、店舗や大規模な商業施設など、様々な建築物のデザインや意匠、建築計画、構造計画について学びます。建築と環境を学べる学科という特性を活かし、建物単体で捉えるのではなく、周辺環境を見極め、ランドスケープデザインまで含めた「環境建築」を考えます。



都市計画・まちづくり

現存する都市やまちを良くしたり、空洞化が進むまちに人を集め、賑わいを取り戻すための方法を学びます。一方、地震国日本にとって重要な都市防災もテーマです。逃げ込む場所となる防災公園を地域の活性化に活かすなど、ハード、ソフト両面の学びを深めます。



インテリア

住宅やオフィスのようなプライベートインテリアから、商業施設や文化施設のようなパブリックインテリアまで、幅広く学びます。考えをコンセプトに落とし込み、プレゼンテーションする力を実践的に養います。



ランドスケープ

「地域の潜在能力を利用して、その地域でしか成立し得ない環境を保全・創出する」というエコロジカル・ランドスケープの理念のもとで、自然環境の読み取り方、地域環境への負荷を軽減する地形改変と雨水活用方法、正しいスケール感覚で空間をデザインする手法を学びます。「人が1/2を造り、残りの1/2を自然に創ってもらう」という原則に従って自然環境の保全と開発の両立を図る価値を学びます。



文化財保存・活用

歴史的な建物の保存や活用について学んでいきます。まちなかにたたずむ建物などを調査して、価値を判断して文化財指定へ導きますが、対象は身近にある築50年を経た民家、町家、洋館にも及びます。歴史的建造物の修理現場を見学するとともに、実際の建物を調査し、改修案を考えます。古民家の再生、リノベーション、歴史的な町並みの保存・活用など領域は広く、まちづくりやインテリアデザインなど、他分野と連動させた学び方もできます。



授業内容

学生たちが様々な賞に恵まれるのは、
まず徹底的にデザインに比重を
置いているからです。
エキサイティングな演習により、
建築・環境における
美しいデザイン、斬新なデザイン、
伝統的なデザインを学びます。

全学科共通の「基礎造形演習」を土台とし、手描きの製図、CAD や CG の表現を習得し、建築・環境デザイン演習に応用します。1 年次が終わる頃には、建築・環境に関する設計の基礎となる表現力を身に付けることができます。

1 年次の後期から 2 年次の後期までの間に行われる建築・環境デザイン演習の課題を通して、本学科のすべての分野の基礎的な設計の考え方を経験します。その結果、いろいろな環境空間を自分たちで考えられるようになり、プレゼンテーション力も向上し、自信がつきます。

3 年次からは各自が深めたい分野の建築・環境デザイン演習を選択し、よりレベルアップした分析力、設計力、論考力を身に付けます。

さらに、学科専門科目の所定の単位を修得することで、全分野の学生が一級建築士受験資格を得られます。

専門教育の流れ

建築・環境 デザイン学科	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期・後期
教養科目	・スポーツ ・論理学 ・長岡学 ・英語I ・英語アドバンスI	・保健体育講義 ・統計学 ・情報リテラシー論 ・生物学 ・英語II ・英語アドバンスII	・社会心理学 ・日本文化論 ・現代社会論 ・社会起業	・美術論 ・文化人類学 ・デザインと持続可能性 ・科学技術論 ・創作に係る倫理と知的財産 ・AI・データサイエンス概論	・プロフェッショナル	・哲学	
専門教育科目 【学部共通】	・基礎造形演習 ・NID造形概論 ・発想・着想概論	・発想・着想演習 ・色彩学	・キャリアデザイン				
第 1 区分	・日本美術史	・美術・工芸概論 ・西洋美術史 ・形態デザイン論	・美術解剖学 ・現代芸術論	・美術・工芸特別講義	・美術原論	・認知科学	
第 2 区分	・デザイン概論 ・プログラミングI	・人間工学 ・プログラミングII	・メディアビジネス概論	・デザイン特別講義 ・デザイン思想論 ・ユーザインタフェースデザイン論 ・マーケティング論 ・広告論	・デザイン感性工学 ・サインデザイン概論		
第 3 区分		・建築・環境デザイン概論	・インテリア ・空間安全論 ・文化財学概論 ・緑地環境計画 ・建築史I	・居住論 ・建築・環境デザイン特別講義	・博物館概論		
第 4 区分			・地域協創演習A ・地域協創演習S ・ボランティア実習A ・インターンシップA	・地域協創演習B ・インターンシップB ・ボランティア実習B	・地域協創演習C		
専門教育科目 【学科共通】 建築・環境 デザイン学科	・コンピュータ基礎I ・製図実習	・建築・環境デザイン演習I ・建築・環境表現 ・コンピュータ基礎II ・建築・環境デザイン概論 ・建築構法	・建築・環境デザイン演習II ・建築史I ・建築材料実験 ・建築計画I ・建築構造 ・建築・環境デザイン論	・建築・環境デザイン演習III ・建築・環境デザイン特別講義 ・建築環境工学 ・構造力学I	・建築・環境デザイン演習IV ・建築法規	・建築・環境デザイン演習V ・ゼミ	・卒業研究I・II（通年）
			・測量学 ・都市計画・まちづくり ・建築・環境CG実習I	・建築生産論 ・建築計画II ・建築・環境CG実習II ・建築史II ・緑地環境設計	・構造力学II ・建築設備 ・建築設計 ・エコロジカルプランニング ・リノベーション・デザイン論	・コミュニティデザイン	

※下線は必修科目

見学授業の一コマ



ハワイ大学建築学部との 合同ワークショップ



原寸実習やってみた



越後みしま竹あかり街道





卒業研究の詳細は Web サイトへ
<https://sotsuten.nagaoka-id.ac.jp/>

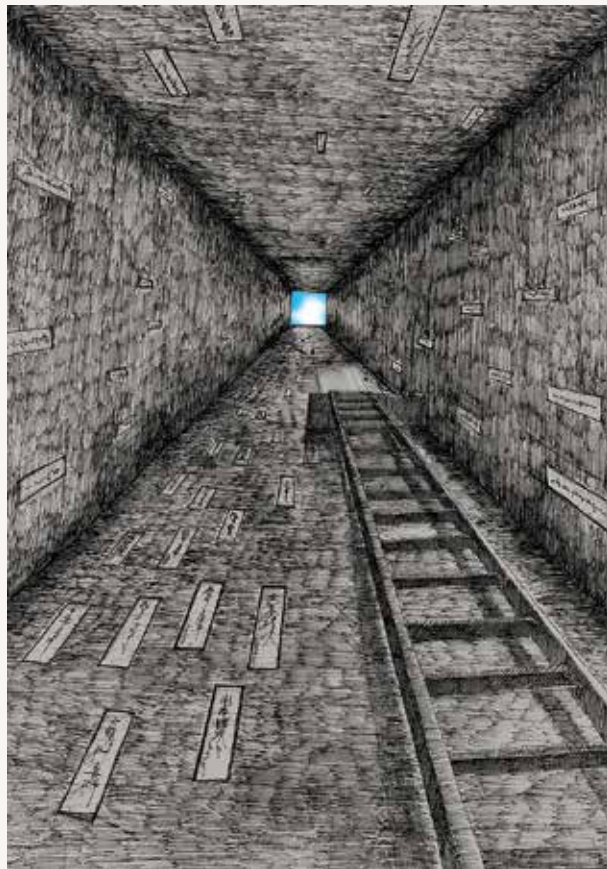


佐藤 菜々緒
 福島県伊達市の柿ばせについて

故郷である福島県伊達市は、過去に養蚕業で栄え、「蚕都」と呼ばれるほどであった。そのため、伊達の産業には養蚕業の上に成り立っているものも多い。そして現在は、「あんぼ柿」と呼ばれる干し柿の生産が盛んである。本研究では、柿の加工時に使用される「柿ばせ」に着目し、発祥の地である伊達市梁川町五十沢地域の柿ばせを対象に調査を進めた。その結果「二階建て、一階が作業場や倉庫、二階が干し場という形態が柿ばせの基本で、それ以外は一見すると統一性がない。しかし、いくつか類型がある。」と分析するに至った。類型は、「構造材」「二階の建具の有無」といった意匠の部分と、「新築」「既存の建物の一部を解体しての活用」「既存の建物の外部に手を加えた活用」の3種類の建築方法を掛け合わせた計24通りで捉え、軒数や分布を中心に再度統計をとった。結果として、①木造で建具を備えるものが多い反面、屋根等それ以外の部分の差異は少ないこと。②建築の方法では、既存の建物を活用するものが多く、五十沢の柿ばせの約2/3は、既存の建物が転用されていること。以上2点が判明し、五十沢の柿ばせの全体的な傾向が浮き彫りになった。転用された建物には、蚕室をはじめ別の産業の建物も多い。福島県外の「柿ばせ」や、干し柿生産の実態と比較すると、こうした既存建物を活用した柿ばせは、五十沢独自であることが判明した。あんぼ柿は、養蚕業に代わり地域住民の精神・収入を支えただけでなく、柿ばせというかたちで、現代で言う「空き家問題」の解決にも貢献したと言えるだろう。



平川 真太郎
 「ツバキ里海イニシアティブ」 港町、佐賀県「呼子」にて、海と橋とインバウンドにより、人と街に艶めきをもう一度



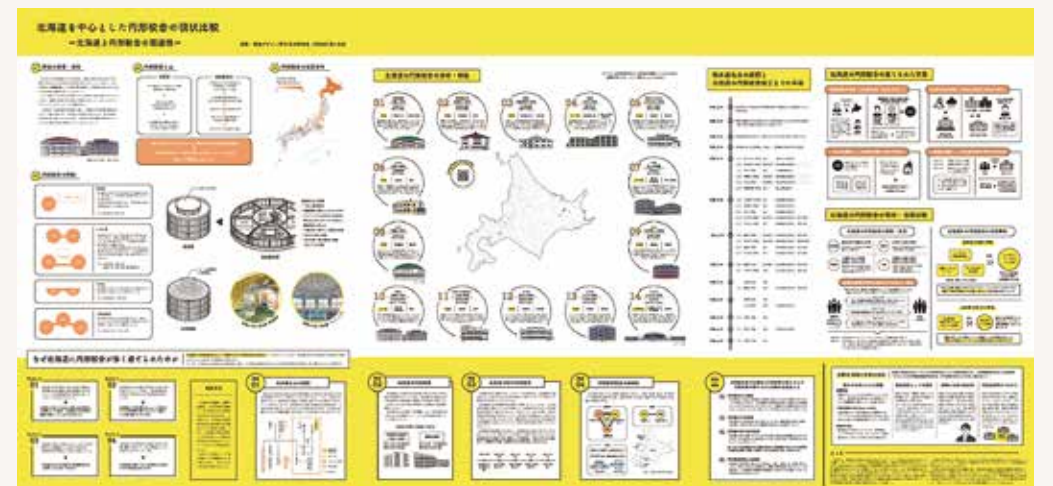
櫻井 康平
 誰が為に秘し隠す
 ー湧水の里の宗教コミュニケーションー



林 飛良
 あなたもなれる、ケンチキューバーに。
 ー建築をひらくためのゲーム制作ー



佐野 菜々緒
 新潟銭湯アーカイブス



澤口 有紀
 北海道を中心とした円形校舎の現状比較
 ー北海道と円形校舎の関連性ー



現在の仕事内容

施主との打ち合わせから設計業務を担当しています。仕事の依頼は全国から来ており、現在は長崎市のプロジェクトに携わっています。幼児施設に特化しており、こどもたちにとって、よりよい環境となる園舎設計を行っています。

仕事のやりがい

園舎が完成するまでには、多くの時間と様々な人の労力がかかります。そのため、できあがりを見た時の感動も大きいですが、お客さんから「赤川さんが担当でよかった」と言われたことが、今までで最も嬉しい出来事で、それまでの苦労が報われる瞬間でした。

1	2
3	4

1. 2022年3月に竣工した保育園 外観
2. 2022年3月に竣工した保育園 内観
3. 2022年3月に竣工した認定こども園 内観
4. 2022年3月に竣工した認定こども園 内観

赤川 汐織 Akagawa, Shiori

株式会社日比野設計

出身学校：分水高等学校（新潟県）
卒業学科：建築・環境デザイン学科
大学院 造形研究科 修士課程



現在の仕事内容

中・大規模の推進案件やコンペ案件など様々な案件に携わっています。またオフィス空間のデザインだけでなく、働き方の提案も行っています。

仕事のやりがい

「お客様の潜在的な問題点を見つけ、解決策を提示する」これがしっかりと結果となって現れた時、達成感であったり、充実感を感じます。よりお客様と近い距離でコミュニケーションが取れるのも、この仕事の魅力の1つだと思います。

1	
2	
3	4

1. 某機器メーカーのオフィス計画案
2. 某機器メーカーのオフィス計画案
3. 本社である ITOKI TOKYO XORK 11F
4. 本社である ITOKI TOKYO XORK 12F

神保 裕之 Jimbo, Hiroyuki

株式会社イトーキ

出身学校：名古屋西高等学校（愛知県）
卒業学科：建築・環境デザイン学科



NID Campus Life

学 生 の 生 活

(2022年11月 学生生活実態調査より)

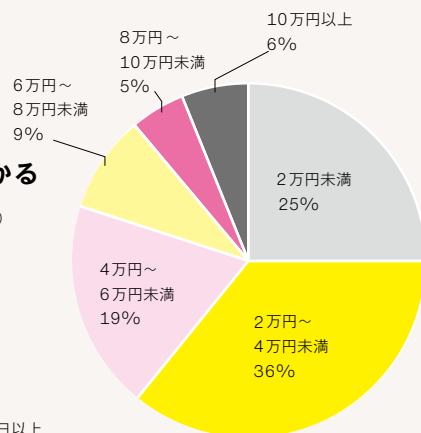


Web マガジン
NID Focus

学生による
活動レポートなど

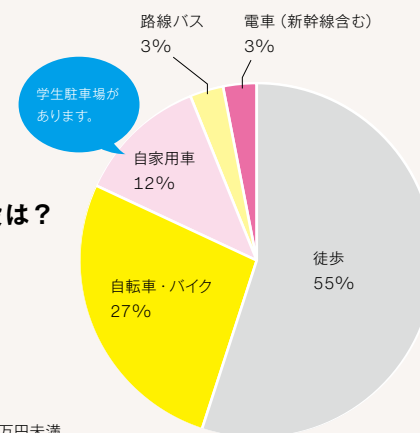
Q

学費以外にかかる
教材費は？(年間)



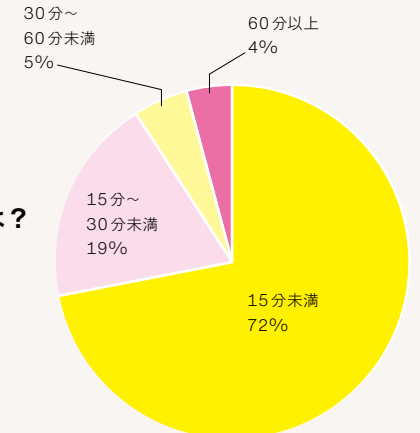
Q

主な
通学手段は？



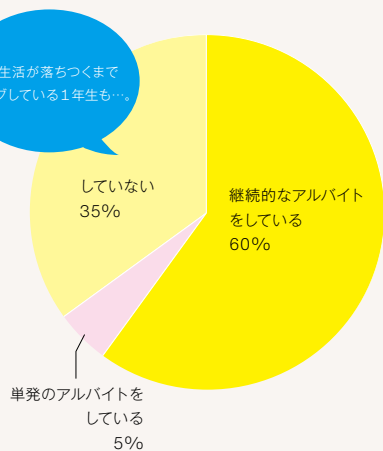
Q

通学の
所要時間は？



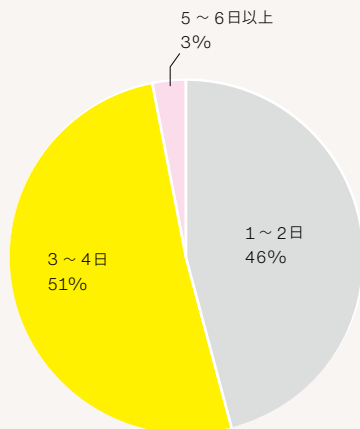
Q

アルバイトを
していますか？



Q

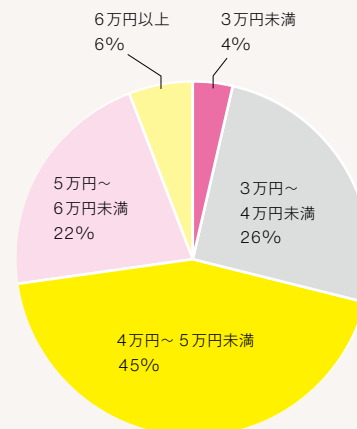
アルバイトは週平均
何日していますか？



Q

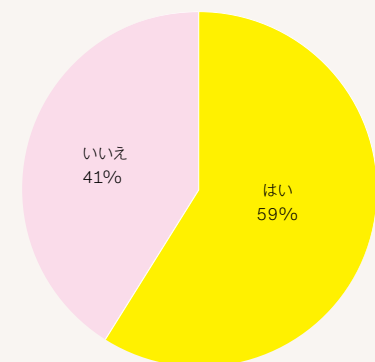
家賃の相場は？

(共益費・管理費・駐車場代を含む)



Q

部、サークルに
入っていますか



大日方 光希 Obinata, Kouki

学 科：プロダクトデザイン学科 3年 ※
出身学校：松本深志高等学校(長野県)
学生団体：天文サークル、バスケットボールサークル、電子工作サークル

アルバイト

塾講師、レストランスタッフ

将来の目標

文具デザイナー、図書館司書

ある日の
スケジュール



ある月の
生活費



平山 茉咲 Hirayama, Masaki

学 科：視覚デザイン学科 4年 ※
出身学校：佐土原高等学校(宮崎県)
学生団体：長岡芸術工事中実行委員会、視覚デザイン学科卒業研究作品集制作委員会、We Love 錦鯉プロジェクト、卒業アルバム編集委員会 など

アルバイト

学内イベントのスタッフや、学内広報物のデザインをしています。

将来の目標

届ける人に寄り添うUI/UXデザイナー

ある日の
スケジュール



ある月の
生活費



高校生の頃から憧れていた職種が、大学の専攻などの縛りがない職種だったので、せっかくなら、大学では何か新しいことを学んでみたいと思い、NID に入学しました。一つのキャンパスに複数の学科の学生が集まるこの大学では、学生生活を通して多方面の情報や知識に広く触れることが可能だと思います。自分のやってみたいことも、そのなかで見つけられるんじゃないかと思っています。



バスケットボールサークルの活動の様子



プロダクトデザイン学科での授業の様子



長岡市のアートイベント「長岡芸術工事中 2022」のオープニング



長岡駅での錦鯉の装飾をプロジェクトで制作

※2023年4月入学から「プロダクトデザイン学科」と「視覚デザイン学科」は統合され「デザイン学科」となりました。



施設

2024年秋に先端的なデジタル機器を備えた
プロトタイピングルームやデジタルデザインアトリエ、
映像やオーディオの編集室など、
全学生が使用できるものづくり拠点が誕生します。



学生団体
部・サークルなど



詳細は <https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/campus/circle/>



デッサン室

新入生はここから学びをスタートします。
主に基礎造形演習で使用。天井を高く、空
間に広がりを持たせ、また壁面に沿って展
示用レールも配置されています。



1年生アトリエ

主に基礎造形演習で使用される1年生専
用のアトリエ。授業時間以外でも利用でき、
1年生同士の交流の場としても活用されて
います。



NID ホール

サークル活動や各種イベントなどで使用さ
れます。バスケットボールやバレーボール、
フットサルなどのサークル活動や各種イベ
ントのほか、授業でも使用されます。



図書館

デザイン・アート関連図書を中心に蔵書数
約80,000冊。個別ブースも備え、本を
片手にパソコン作業などを行うことができ
ます。



学生会



卒業アルバム編集委員会



大学祭実行委員会



バスケットボールサークル



レストラン

2層吹き抜けて、開放感あふれるレストラ
ン。景観をスクリーンのように見せる全面
ガラス張り壁面が、景色の美しさを一層引
き立てます。ハリウッド映画のロケ地とも
なりました。



ギャラリー

授業作品やサークル等の作品展示空間。1
年中通して様々な展示が並びます。普段は
テーブルやイス、ピアノが設置され、学生
の休憩スペースとしても使用されます。



彫刻アトリエ

主に塑造と木彫を専門的に学べる設備と道
具が充実。大型作品の制作にも対応できる
ほか、様々な表現方法に合わせ、柔軟に対
応できる空間となっています。



なつせん
捺染工房

布に型版を用いて色糊（糊に染料を加えた
もの）で連続模様を染めつける専用の工房。
幅1.3m×長さ9mの捺染台2基を完備
しています。



NID 総合音楽会【軽音楽】



吹奏楽部 甘楽【吹奏楽】



mercieria【手芸】



輪太鼓衆 輪太鼓舞【和太鼓】



バレーボールサークル



DREAM SCREEN【デジタル作品】



Tech☆Tech【電子工作】



バドミントン部



プロダクトデザインアトリエ

ウエア、バッグ、帽子など、主にファッショ
ン関係学ぶ学生たちの制作の場として利
用されています。



撮影スタジオ

背景紙、スカイライト用昇降ボタン、大型
照明機材などプロユースの設備を備えてい
ます。所定の講習を受けるとだれでも使用
できます。



映像編集室

コンピュータ（Mac）、アニメーションス
タンド、オーディオ機器を配置し、映像
作品の制作・編集や映像上映で使用しま
す。2024年からは新校舎に移転予定です。



彫金工房

彫金やジュエリー制作を行うための作業環
境と幅広い機器・工具類を完備。また伝統
的な鍍金を行うための金鍍装置も備えてい
ます。



演劇部 平成ぼこ



COSMONAUT【天文】



ワンダーフォーゲル



クリエイティブクラブ【マンガ】



ガラス工房

ガラス工芸に必要な宙吹き・キルンワーク・
ランプワーク・コールドワーク等の制作に
必要な機材を完備しています。



たんきん ついき
鍛金・鋳起工房

金属をたたき延ばして成形する「鍛金」の
専用工房。80種類以上の当て金や、熱加
工のためのガスバーナー台等を完備して
います。



ろうきんろうどう
鋳金鋳造工房

石膏の型に溶かした金属を流し込んで形を
つくる「鋳金」の専用工房。100kg可傾
式熔解炉やガス窯炉、ホイストクレーン等
を完備しています。



建築・環境デザインアトリエ

建築・環境デザイン学科の学生の制作ス
ペース。アトリエ中央の木造螺旋階段は支
柱がない構造で、本学卒業生が設計した隠
れた名所です。



STRAY CHILDREN【映像】



器皿工房【陶芸】



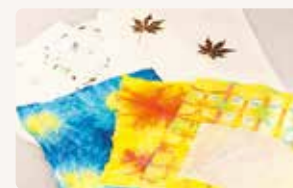
N.T.C（長岡トランスポートेशनクラブ）



No Wall Digger【ダンス】



サッカー・フットサルサークル



紙漉きサークル



テニスサークル



クラブハウスの
中に部室や音楽
スタジオがあり
ます。



クラブハウス

大学周辺施設



授業料等

造形学部					
入学料（入学時のみ）	282,000 円	※長岡市内在住者は 141,000 円			
	前期分（4 月納付）		後期分（10 月納付）		年 額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	=	535,800 円
実習料	25,000 円	+	25,000 円	=	50,000 円
合 計	585,800 円				

※上記の他、学生会費（4,000 円）、保護者会費（10,000 円）、校友会費（10,000 円）を毎年代理で徴収させていただきます。
※ノートパソコンの所有が必須となります。推奨モデルおよび特別販売などの詳細は合格者全員にお知らせします。

大学院修士課程					
入学料（入学時のみ）	282,000 円	（長岡造形大学造形学部卒業者は免除） ※長岡市内在住者は 141,000 円			
	前期分（4 月納付）		後期分（10 月納付）		年 額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	=	535,800 円
合 計	535,800 円				

大学院博士（後期）課程					
入学料（入学時のみ）	282,000 円	（長岡造形大学大学院修士課程修了者は免除） ※長岡市内在住者は 141,000 円			
	前期分（4 月納付）		後期分（10 月納付）		年 額
授業料	267,900 円	+	267,900 円	=	535,800 円
合 計	535,800 円				



オープンキャンパス

※最新の情報は、長岡造形大学ホームページで確認してください

01 オンラインオープンキャンパス

2023年 6月25日（日）

Web を通じて **気軽に参加できる** オンラインイベントを開催します。
模擬授業や、在学生との交流など様々なプログラムを企画しています。

02 来場型オープンキャンパス

2023年 8月5日（土）、6日（日）

NID のオープンキャンパスはデザイン・アートの魅力を、見て・知って・体感できるプログラムが盛りだくさん！**「大学ってどんなところ？」**「**デザインって何？」**そんな疑問も、NID のオープンキャンパスに参加すれば、一気に解決できるはず。



新潟県立近代美術館

緑豊かな千秋が原ふるさとの森に位置する美術館。日本の近代美術の流れを見通せる作品や 19 世紀の西洋美術など多くの名品を収蔵。コレクション展の他、幅広いジャンルの企画展を開催しています。



長岡リリックホール

コンサートホールとシアター、10 室の練習スタジオを備えた芸術・文化の拠点。地域に根付いた文化活動の「創造の場」「発表の場」として、長岡の特性を生かしたさまざまなイベントが開催されています。



リバーサイド千秋

リバーサイド千秋・アビタ長岡店と 120 余りの専門店からなる大型ショッピングセンター。長岡市役所のサービスセンターや郵便局など、暮らしに役立つ施設も多数。

学生サポート

経済的サポート

優秀学生表彰

表彰式で報奨金が渡されます

優秀な学業成績を修めた学生を表彰し、報奨金を贈呈します。前年度1年間の学業成績が評価の対象となります。

高等教育の修学支援制度

2020年4月より、国が修学意欲のある学生に対し経済的な支援をする「高等教育の修学支援新制度」が始まりました。一定の基準を満たす場合に奨学金の給付に加え、入学金・授業料も減免となります。NID入学後に申し込む在学採用と、入学前に申し込む予約採用があります。予約採用については在籍する高校の先生に問い合わせてください。

※家計基準のほか学力基準があります
※詳細は日本学生支援機構のホームページを参照してください。

日本学生支援機構奨学金

(日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/>)
日本学生支援機構が実施する貸与型奨学金を紹介しています。奨学金には、NID入学後に申し込む在学採用と、入学前に申し込む予約採用があります。予約採用については在籍する高校の先生に問い合わせてください。
※在学採用については入学後に説明会を開催します。

授業料等免除

NID独自の制度

経済的理由により修学が困難で、人物および学業成績がともに優秀である学生に対し、NID独自の制度として本人の申請に基づき、予算の範囲内で授業料等の年額の半額を免除します。
※8月に募集を開始します。

国際交流事業支援奨学金

NIDと外国の大学等と締結した交流協定に基づく交流事業(またはそれと同等と学長が認める機会)に参加するため、海外渡航しようとする場合に、参加学生の渡航に要する経費の2分の1(ただし上限10万円)を支援する制度です。給付のため返還の義務はありません。

長岡造形大学校友会助成金

卒業生と在学生で組織される校友会は、学生が行う展示会等有望な活動に対して助成金を給付し、その活動を支援しています。

学業・学生生活サポート

単位互換制度

NIDに在学しながら他大学の授業を履修できる制度です。工学、経営、看護、教養など学びの幅を広げることができます。取得単位は規定範囲内でNIDの履修単位として認められます。

長岡技術科学大学・長岡大学・長岡崇徳大学
長岡工業高等専門学校・新潟工科大学・放送大学



留学制度

NIDでは海外の大学と提携を結び、交換留学や相互研究活動を推進しています。事務局では学生が海外で活動するための準備や手続きをサポートしています。

【提携大学】

- 東西大学（韓国）／交流協定・複数学位協定（大学院短期留学プログラムあり）
- 漢陽大学（韓国）／交流協定（大学院短期留学プログラムあり）
- ハワイ大学（米国）（建築学部）／交流協定
- ノリッチ芸術大学（英国）／交流協定
- トリアー応用科学大学（ドイツ）／交流協定（短期留学プログラムあり）

学生教育研究災害傷害保険

(略称・学研災)(公益財団法人日本国際教育支援協会)
授業やサークル活動、学校行事・通学中の事故等でのケガに対応する保険に全学生が加入します。

学研災付帯賠償責任保険

(略称・付帯賠償)(公益財団法人日本国際教育支援協会)
正課中、学校行事中、課外活動、教育実習やインターンシップ、ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまったり、他人の財物を損壊してしまった場合に対する保険に全学生が加入します。

もしもの時に...

資格取得サポート

※資格取得には所定の科目を修得する必要があります。

学芸員

(定員35名) 全学科の3年生以上の学生は、学芸員課程を履修し、所定の科目の単位を修学することで資格取得ができます。

全学科

一級建築士受験資格

※免許登録に必要な実務経験年数は指定科目の修得単位数により異なり、最短で2年になります。

※NIDでは、指定科目の修得単位数により大学院修士課程の2年間が実務経験として算入できます。

二級建築士受験資格

※免許登録に必要な実務経験年数は指定科目の修得単位数により異なります。

一・二級建築士資格取得支援

日建学院と提携した資格取得支援講座を学内で開講しています。また、日建学院、総合資格学院と提携し、受講者は卒業後も建築士試験受験講座を優待価格で受講できます。

木造建築士受験資格

※受験に必要な実務経験年数は指定科目の修得単位数により異なります。

インテリアプランナー登録資格

※NIDでは、登録に必要な実務経験年数が0年(不要)に短縮されます。

一・二級建築施工管理技術検定試験受験資格

一・二級造園施工管理技術検定試験受験資格

※受験に必要な実務経験年数が、一級は3年(うち指導監督の実務経験年数1年以上)に、二級は1年に短縮されます。

RLA:登録ランドスケープアーキテクト受験資格

※ランドスケープ系研究室に所属し卒業した場合に、受験に必要な実務経験年数が3年に短縮されます。

建築・環境デザイン学科

施設・設備サポート

東京シャトルバス

東京まで往復2,000円!

往復2,000円の料金で、長岡と東京を往復する、学生専用の貸切バスです。運行は毎月1回程度。NIDを金曜の夜に出発し、翌日土曜日の夜に戻ってきます。

NaDeC BASE

新たな拠点が整備

長岡市内中心部にある、市内4大学1高専の活動拠点「NaDeC BASE」を利用することができます。各校授業、ワークショップ、デジタルファブリケーションなどさまざまな活動を実施しています。

2023年には長岡駅前に「米百俵ブレイスミライエ長岡」が誕生し、4大学1高専の新たな拠点が整備されます。



学生駐車場・駐輪場

学生駐車場は自動車約260台分の駐車スペースを用意しています。また、バイクや自転車用の駐輪場も完備しています。

ロッカーの貸与

個人で利用できるロッカーを学生に貸与します。

売店

画材を中心に、制作活動に必要な道具類は学内で買い揃えることができます。

作品展示スペース

学内には作品展示ができるスペースが多数あります。サークル活動や個人・グループで制作した作品を展示することができます。またフックやワイヤーなど展示用備品の貸し出しも行います。

レストラン

授業期間中はお昼だけでなく、夜も営業しています。授業後に制作活動やサークル活動を行う学生たちに多く利用されています。おやつ時には、スイーツやスナックを提供しています。

スポーツ施設

NIDホール(体育館)、グラウンド、テニスコートをはじめ、シャワー付きの更衣室も完備しています。

オフィスアワー・学生相談室

専任教員は、週1回オフィスアワーを設定し、学生の質問や相談に対応しています。また、学生相談室では臨床心理士が相談を受け付けています。

プロトタイプングルーム

2024年拡張整備

3Dプリンターやレーザーカッターなどのデジタルファブリケーション機器を使用し、多様なものづくりを実施できます。2024年に完成する新校舎の目玉として拡張整備されます。



修学特別支援室

障がいのある学生、修学上様々な困難を抱えている学生の相談窓口です。

医務室とカラダの健康相談

学生の心身の健康をサポートします。

新潟県立美術館 友の会

在学期間中、新潟県立美術館友の会に入会しています。新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館の2館共通で、企画展の無料観覧券(年2枚)や割引特典などが受けられます。

都道府県別学生数

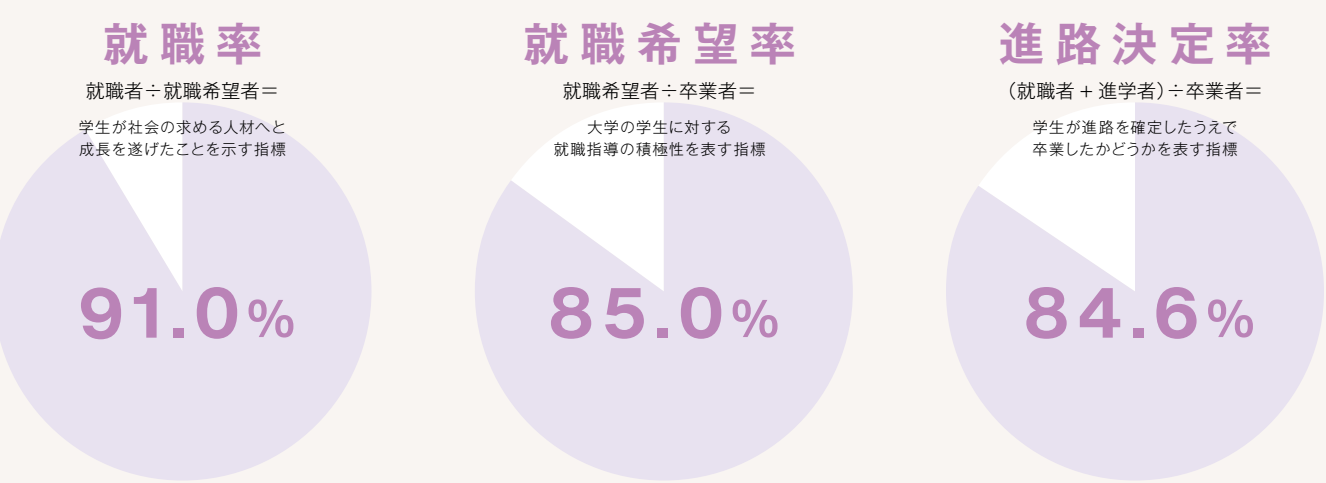
8割が新潟県外
全国各地から
集まっています

北海道	35	青森県	24	岩手県	37	宮城県	20	秋田県	15	山形県	34
福島県	49	茨城県	23	栃木県	28	群馬県	42	埼玉県	12	千葉県	10
東京都	22	神奈川県	6	新潟県	200	富山県	60	石川県	26	福井県	15
山梨県	8	長野県	93	岐阜県	16	静岡県	50	愛知県	18	三重県	1
滋賀県	0	京都府	3	大阪府	28	兵庫県	15	奈良県	8	和歌山県	2
鳥取県	5	島根県	4	岡山県	5	広島県	14	山口県	5	徳島県	3
香川県	32	愛媛県	13	高知県	1	福岡県	14	佐賀県	6	長崎県	8
熊本県	10	大分県	6	宮崎県	16	鹿児島県	11	沖縄県	12	外国	1

2023年4月1日現在

進路

NID で身に付けたデザインマインドやスキルは幅広い分野・職種において活かすことができ、就職先は実に多様です。キャリアデザインセンターのスタッフが学生一人ひとりとじっくり向き合い、教員と連携しながら学生が目指す進路を全力でサポートします。



高い就職率、就職希望率、進路決定率を支えるサポート体制

低学年からのキャリア教育

将来についての目標や実現のための方法を考えるキャリア教育を実施しています。
就職だけを目的とせず、将来を見つめる授業です。



2年生前期に学部全体のキャリア教育を行います



先輩から就職活動のこと、卒業生から仕事のことについて話を聞きます



個別指導体制の充実

キャリアデザインセンタースタッフで3年生全員を個別面談します。
その他、個別の進路相談から履歴書添削、面接指導まで幅広く学生を支援します。



専門家からのアドバイス



卒業生のポートフォリオ

ポートフォリオ指導

デザイナーの就職活動では、企業にスキルや能力をアピールするために、作品や活動をまとめたポートフォリオ（作品集）を作ります。
専門家によるポートフォリオ講座や個別アドバイス会を複数回実施しています。
研究室の教員も学生の進路に合わせて的確に指導します。
また卒業生のポートフォリオを公開し、後輩にNIDマインドを受け継いでいます。

2023年3月 卒業生の進路状況

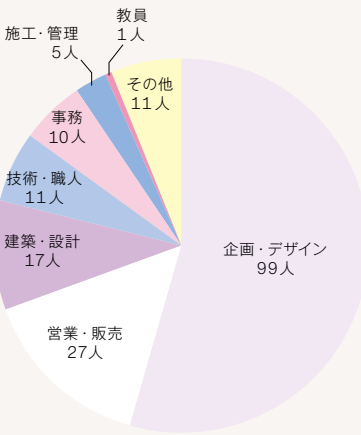
(2023年3月31日現在)

*就職者には起業等、作家・クリエイト活動を行うものを含む（活動実績があるもの）

	プロダクト デザイン学科	視覚 デザイン学科	美術・工芸 学科	建築・環境 デザイン学科	合 計
卒業生	32	111	31	60	234
就職希望者	30	101	20	48	199
就職者※	30	90	17	44	181
進学者	1	0	6	10	17
就職率	100%	89.1%	85.0%	91.7%	91.0%

職種別

(2023年3月31日現在)



豊富な情報量

10,000社以上の求人情報を求人検索ナビシステムにて公開しています。
また先輩たちの就職活動の記録も在学生に公開しています。



約60社の企業が集まるキャリア研究フェスが行われます



年間約100社の企業が個別に説明会を行います

多くの企業からのアプローチ

キャリア研究フェスや企業説明会で多くの企業にご協力いただいています。
また、卒業生を含め、様々な企業からデザイナーが来学し学生の就職活動をサポートします。

25年間で輩出した卒業生

5,000人超の卒業生が国内外問わず社会で活躍をしています。
企業で活躍をする卒業生や起業、フリーランスとして活躍する卒業生など多岐に渡っています。



デザイナーとして企業で活躍する卒業生がポートフォリオのアドバイスをします

主な就職実績

2023年 3月卒業生の就職先 (五十音順)

プロダクトデザイン学科

新潟県内
製造業
青柳
日本精機

卸売 / 小売業
アークラランス

新潟県外
製造業
エレコム
オーロラ
クリナップ
白井産業
シンフォニアテック/ロジー
セイコーエプソン
スズキ
ドリテック
ニコン
野村染工場

建設業
エル・ディ・ケイ (ミズタホーム)

卸売 / 小売業
セントネーションズ
デイトナ・インターナショナル
トゥモローランド
ヘッス

広告制作 / デザイン事務所 等
アクアスター
玉木新雄
フーリエ

サービス業
ハウステンボス
フォーシス アンド カンパニー
ホンダモビリティランド

その他
テリア動物医療センター もりやま犬と猫の病院

視覚デザイン学科

新潟県内
製造業
江部松商事

印刷業
新潟日報社
明昌堂

情報通信業
マーキュリー
USEN-NEXT HOLDINGS

広告制作 / デザイン事務所 等
ネオス

写真 / 映像 / スタジオ 等
フォトスタジオウスタ

その他
ラーメンたいち

新潟県外
建設業
サンゼオン

製造業
エポックケミカル
関東食品
キャノン
京都奉製
クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン
コーセー
シャンソン化粧品

ヤタロー
よしだや

印刷業
トップ
POD

情報通信業
オールフォーエスビー
テクノプロ
メンバース

卸売 / 小売業
アミング
太田貿易
おぐら
オゾンコミュニティ ヒステリックグラマー-事業部
クスリのアオキ
サンベルクス
ベイシア

運輸業
シグマロジスティクス

広告制作 / デザイン事務所 等
ウォルナッツ・クレイワークスタジオ
キュー
ゲンクリエイティブ
Sun Asterisk
ジールアソシエイツ
セントラルデザイン
電通デジタル

ハイファイブ
博報堂プロダクツ
ビジブル
ピラミッドフィルムクアドラ
フリースタイルエンタテインメント
ヨシダ宣伝
レイアップ
写真 / 映像 / スタジオ 等
イイノ・メディアプロ
ギークピクチャーズ
サイクルワークス
TBS アクト
テナシティー

ゲーム
セガ札幌スタジオ
パワハウスエンタテイメント
ハル研究所
マーベラス

アニメ
A-1 Pictures
ENGI
Clover Works
チップチューン
ディヴィットプロダクション
ドライブ
ユーフォーテーブル

サービス業
フィットバイト

その他

興能信用金庫
康陽会
三幸学園
ディスコ
バーソルキャリア
福島県中小企業同友会
ベネッセコーポレーション
ゆめカード
Waplus

美術・工芸学科

新潟県内
製造業
浅記
きものブレイン
藤次郎
モッズ

新潟県外
製造業
アーツアンドクラフツ
アイトー
石友
和田彫金工房

卸売 / 小売業
ジャヴァコーポレーション
金沢丸越百貨店
マルミジボテリ

広告制作 / デザイン事務所 等
バシフィックアートセンター

職人
種沢製作所

その他
エイジェック
グリーンズ
富山県 (高校教員)
藤城清治美術館

建築・環境デザイン学科

新潟県内
建設業
加賀田組
頸城建工
クリエイトセンター
ジール建設
Sponge
ハーバーハウス
福田組
ミサワホーム北越
モリタ装芸
吉原組

卸売 / 小売業
クラッシュアンドカンパニー
ホンダオート上越

その他
プラントフォーム

新潟県外
建設業
北野建設
熊倉
正栄産業
積水ハウス
大和ハウス工業
デザインアートセンター
ビルダリッジ
洞口
リビタ

製造業
カゴメ

不動産業
カチタス
卸売 / 小売業
伊具緑化
出先
ジュエルはま
長谷川産業
ランドウェル
広告制作 / デザイン事務所 等
エネット
玉木新雄

設計事務所
AIS 総合設計
アカンブリッシュ
ジーク
ユニマットリック
6D

サービス業
スベサン

その他
ベネッセスタイルケア
陸上自衛隊

大学院

新潟県内
長建設計事務所
ヨネックス
若林製作所

新潟県外
アーツカウンシル東京
秋田公立美術大学
IBJ
イビソク
ケイ・ウノ
studio iiro (スタジオイイロ)
スマサガ不動産
八島デザイン事務所
横浜市芸術文化振興財団

過去の卒業生の就職先 (五十音順)

家電・自動車・精密機器など

新潟県内
浅野金属工業
アルモ
大原鉄工所
倉敷機械
コスモ・パワー
コロナ
システムスクエア
ダイニチ工業
テクノリンク
日本精機
フジイコーポレーション
マコエ

新潟県外
アイ・オー・データ機器
アベックス
いすゞ自動車
ウイン・ディー
エンケイ
オリンパス
オリンピア照明
カシオ計算機
ケイテック
キャノン
コイズミ照明
清井医療
サンアロー
シバックス
シャープ
JUKI
スズキ
SUBARU
Ce e v o
ソニー
ダイハツ工業
TB カワシマ
太平洋工業
デンソー
東海理化
東芝
TOTO
TOYO TIRE
トヨタ自動車
トヨタ自動車東日本
トヨタ車体
トヨタ紡織
ニコン
日南
日本電気 (NEC)

日本無線
パナソニック
林テレンプ
工機ホールディングス
フィアロコーポレーション
富士通ゼネラル
富士フィルム
富士フィルムビジネスイノベーション
本田技術研究所
三菱電機
森博
ヤマハ発動機

家具・日用品・玩具など

新潟県内
アーネスト
安達紙器工業
アレコレ
安中製作所
エコー金属
SUS
オークス
兼古製作所
川口工器
川崎合成樹脂
玉川堂
ゴッドハンド
サンカ
JEJ アステージ
JUKI
新光金属
シンワ測定
スリーピークス技研
諏訪田製作所
高橋
高桑金属
藤次郎
外山産業グループ
吉田金属工業
和平フレイズMS
新潟県外
アイリスオーヤマ
arma bianca
イトーキ
オカムラ
河合楽器製作所
河淳
コトブキ
コンビ
ジャクエツ

タカラトミー
タミヤ
天童木工
トーソー
セーレン
ニューウェルブランズ・ジャパン
能作
飛騨産業
ブラッ
マブワールド
ムーンスタ
ヤマハ
吉田
レイアップ
レック

スポーツ用品 ジュエリーなど

新潟県内
オンヨネ
倉又製作所
新潟県外
アシックス
アールベン
石友
大淵銀器
桑山
ケイ・ウノ
サンリブ
J・o n e
島田貴金属店
ソラ
ナガホリ
ニューバランスジャパン
水野貴金属店
ヨネックス
ランドマック

繊維・アパレルなど

新潟県内
青柳
ウェダニット
きものブレイン
第一ニットマーケティング
はしゆつ
吉澤織物
コンビ
大塚製靴

キャン
京都きもの友禅
加野
住江織物
セーレン
第一編物
玉木新雄
田屋
フォーティファイブアルビーエムスタジオ
マツオインターナショナル
やまと
ワールドストアパパートナース
ワシントン靴店

広告・出版・印刷 ディスプレイなど

新潟県内
アズサ
アドハウスパブリック
アドプロダクションエム
ウィザップ
CSコーポレイション
島津ホールディングス
新宣
誠晃舎
第一印刷所
タカヨシ
滝沢印刷・文芸館タキザワ
中央印刷
新湖印刷
新潟日報社
西巻印刷
ニュース・ライン
ネオス
ハーモニック
博進堂
パブリシティコア
フォーワテック・ジャパン
富士印刷
フジ・クリエイティブセンター
フレーム
プレスメディア
北越印刷
はしゆつ
明昌堂
新潟県外
アーツ

朝日新聞社
アドブレイン
ヴォイス
エイエイビー
エイトブランディングデザイン
オリコム
温泉道場
カイカイキキ
カヤック
カラフルカンパニー
共同通信社
共立印刷
good design company
グッドモーニング
クレオ
産業編集センター
CDG
ジェイアール東日本企画
ジェイスリー
ジェ・シー・スパーク
スタヂオ・ユニ
ダイナマイト・プラザーズ・シンジケート
高桑美術印刷
たき工房
丹青社
カブコン
TSDO
クッパバッチ
KLab
コーエーテックモホールディングス
コナミホールディングス
サイゲームス
サイバーエージェント
G2 Studios
キューブデザイン
グリーンシグマ
高田建築事務所
細見建築事務所
セラク
ZOZO テクノロジーズ
太陽企画
チームラボ
千代田ビデオ
TREE Digital Studio
DMM .com
テレビ朝日クリエイト
ムラヤマ
吉岡徳仁デザイン事務所

Web・映像・ ゲームシステム開発など

新潟県内
NS・コンピュータサービ
エヌ・シー・ティ
クーネルワーク
コム
シアンス
T e N Y サービス
ビーアンドエム
B S N ウェブ
ビット・エイ
プロメディア新潟
UXビジョン
新潟県外
AOI P r o .
アクアリング
旭プロダクション
あじらそ二十
アンビション
イマジカグループ
インテリジェントシステムズ
エイチームエンターテインメント
エヌディーキューブ
カカココム
カブコン
京都アニメーション
クッパバッチ
KLab
コーエーテックモホールディングス
コナミホールディングス
サイゲームス
サイバーエージェント
G2 Studios
キューブデザイン
グリーンシグマ
高田建築事務所
細見建築事務所
セラク
ZOZO テクノロジーズ
太陽企画
チームラボ
千代田ビデオ
TREE Digital Studio
DMM .com
テレビ朝日クリエイト
ムラヤマ
吉岡徳仁デザイン事務所

バイブリーアニメーションスタジオ
ハル研究所
バンダイナムコホールディングス
バンダイナムコスタジオ
blue
日本一ソフトウェア
ピラミッドフィルムクアドラ
フラ
プロダクション・アイジー
MAPPA
ミクシィ
メンバーズ
ヤファ
ユーフォーテーブル
リベル・エンタテインメント
ワオ・ワールド

食品加工など

新潟県内
岩塚製菓
亀田製菓
三幸製菓
新潟味のれん本舗
ブルボン
吉乃川
新潟県外
伊那食品工業
ルビシア

設計事務所など

新潟県内
キューブデザイン
グリーンシグマ
高田建築事務所
細見建築事務所
新潟県外
梓設計
上山良子ランドスケープデザイン研究所
隈研吾建築都市設計事務所
住友林業緑化
高島屋スペースクリエイツ
デイスバジオ・デザイン
日建設計
日本設計
三越伊勢丹プロバティ・デザイン
ムラヤマ

建設など

新潟県内
阿部建設
植木組
blue
小柳建設
開発技研
加賀田組
頸城建工
恒樹園新潟
第一建設工業
ダイエープロビス
永井工業
福田組
本間組
新潟県外
アバグループ
鹿島建設
清水建設
ヤマト

住宅建築・不動産など

新潟県内
アサヒアレックスホールディングス
アンドクリエイト
イシカワ
イフコンハウス新潟
SD 建築研究所
重川材木店
坂井建設
ナレッジライフ
能建
ハーバーハウス
プラスバー・トム
ミサワホーム北越
新潟県外
セキスイハイム信越
積水ハウス
大成建設ハウジング
大東建設
大和ハウス工業
ナガワ
日本総合住生活
ハウスデック
日比野設計
ボラス
三井ホーム
三井ホームデザイン研究所
LIXIL

仏具・文化財保存 職人など

新潟県内
トーア
吉連堂
新潟県外
Glass Studio 尋
澤彫刻店
鈴木鋳金具工芸社
factory zoomer
吉田生物研究所

公務員・特殊法人など

新潟県内
越後さんとう農業協同組合
えちご上越農業協同組合
越後ながおか農業協同組合
小千谷市
柏崎農業協同組合
金沢商工会議所
起業支援センターながおか
佐渡市
佐渡農業協同組合
市民協働ネットワーク長岡
上越市
中越防災安全推進機構
燕三条地場産業振興センター
燕市
長岡市
長岡商工会議所
新潟県建設技術センター
新潟市
新潟県外
会津若松市
茨城県産業技術イノベーションセンター
いわき市
桐生市
木曾町役場
神戸市
星陵グループ
特許庁
日本郵便
文化財建造物保存技術協会
宮崎県工業技術センター

教員

新潟県内
開志専門職大学

新潟デザイン専門学校
新潟県外
角川ダウンゴ学園
富山県立砺波総合支援学校

その他

新潟県内
アクシアルリテイリング
アークランドサカモト
コメリ
長岡信用金庫
新潟交通
ワタナベグループ
新潟県外
アトリエばお
アニエスベージャパン
温泉道場
芸術による教育の会
ティップ
ネクステージ
東日本旅客鉄道
フェリシモ
星野リゾートマネジメント
マイナビワークス
ユザワヤ商事



デザイナー セイコーエプソン株式会社（長野県）

中山 創意

プロダクトデザイン学科 ※
出身学校：横浜市立東高等学校（神奈川県）



企業・職種を志望した理由

元々、家電自体にとっても興味をもっていたため、メーカー系の企業を中心に探していました。製品をデザインしていく中で、良い機能を搭載させるためには、良い技術が必要になります。この企業では、独自の技術を活かした製品開発が可能であるため、デザインできる幅が広がり、より良い製品づくりができると考え志望しました。

NIDで身に付いた力

納得感のあるデザインをつくる力が身につきました。自分の作品に対して、どのような意図でデザインしたのかを自問自答し続けることで、全てに意味のあるデザインができるようになりました。

私の“デザイン”

便利なだけでなく、楽しいと思ってもらえるようなデザインが私のデザインです。どちらも両立させている製品こそが良い製品だと思っています。今後もそのようなデザインを目指して制作していきたいです。



舞台業務 株式会社 パシフィックアートセンター（東京都）

早平 愛

美術・工芸学科
出身学校：高岡工芸高等学校（富山県）

企業・職種を志望した理由

近年増えた在宅時間で目にした、アーティストのパフォーマンスに感動し、釘付けになったとともに、表現力や舞台に対する姿勢に魅了され、憧れとなったことがきっかけです。大学では彫刻を専攻しており、空間演出に興味がありました。そのため、アーティストや演者の魅力を引き上げ、お客様が感動する空間を作る仕事がしたいと考え、志望しました。

NIDで身に付いた力

柔軟な思考を持って行動する力です。広い視野と柔軟な思考によって物事をより合理的に行い、些細な工夫や行動がトラブル防止や、人の笑顔と幸せに繋がるという気づきを得ることができました。

私の“デザイン”

「人の笑顔や幸せ、感動を一番考えた物事を行うこと」が私のデザインです。舞台ではお客様の要望や視点を考え、演者の魅力をよりよく見せることを留意し、日々尽力していきたいと思っています。



アート・デザインコース 株式会社 電通デジタル（東京都）

小森 香乃

視覚デザイン学科 ※
出身学校：宮城県泉館山高等学校（宮城県）

企業・職種を志望した理由

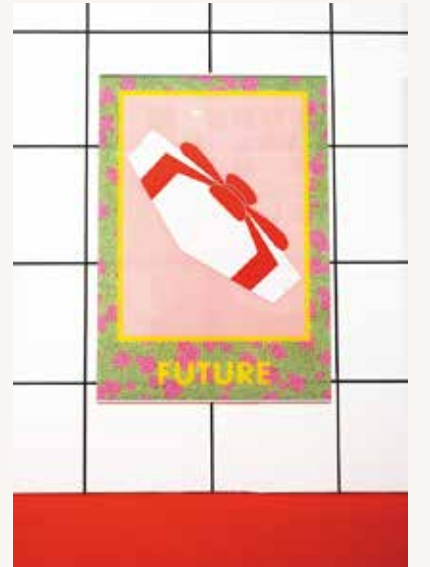
新しいものが大好きなことで、肩書きや領域にとらわれず、分野を横断して課題を解決していくことに興味があったからです。扱っている分野も広く、最先端のテクノロジーを活用して魅力的なクリエイティブを生み出しているこの会社なら、自分が今まで培ってきた力を生かしながら働いていけると感じたため志望しました。

NIDで身に付いた力

自分から行動する力です。積極的に何かに取り組んだり参加したりすることで、物事は良い方向に向かっていくということを身をもって実感することができる環境だったと感じています。頑張る人を正面から応援してくれるような大学でした。

私の“デザイン”

私にとっての「デザイン」は相手を幸せにするための計画そのものです。昨日までこの世界になかった新しいイメージを打ち出し、人と人、人とモノ、モノとモノを繋いでいきたいと思っています。



住宅設計 大和ハウス工業株式会社（大阪府）

佐藤 紗香

建築・環境デザイン学科
出身学校：宇都宮短期大学附属高等学校（栃木県）

企業・職種を志望した理由

昔から、人の笑顔につながる仕事をしたいと思っていました。興味のある住宅設計業界の中でも、大和ハウスは「共創共生」をモットーに、お客様とのコミュニケーションを大切に、お客様の暮らしを理解しながら提案に繋げるというプロセスです。それは二人三脚で生活をつくりあげるようなもので、より多くの達成感と幸せをお客様に届けられると思い志望しました。

NIDで身に付いた力

人に自分の考えを伝える力です。自分の作品にどんな背景や目的があって、どんなコンセプトでどんな機能があるのかを、限られた時間でいかにわかりやすく伝えるかを、演習のたびに考えさせられました。社会に出ても必要とされる力だと思うので、これからも磨き続けたいです。

私の“デザイン”

さまざまなものを見て知見を得ることが自分のデザインの可能性を広げると考えます。その繰り返しで、自分の好きなデザインや得意なデザインが見つかると考えます。私はまだまだ知識不足で、それらが完全には見つかっていない状態です。社会に出た後も広い視野で周りを見て、自分のデザインの可能性を広げ続けたいです。



大学院

Graduate School of Design



壊す

実践
する



創る

造形学部

4年

修士課程

2年

博士(後期)課程 3年

デザイン学科

美術・工芸学科

建築・環境デザイン学科

プロダクトデザイン領域

視覚デザイン領域

美術・工芸領域

建築・環境デザイン領域

イノベーションデザイン領域

造形理論領域

イノベーションデザイン領域では、地域おこし協力隊制度を活用した「イノベーター育成プログラム」(いのプロ)を実施しています。詳しくは<https://www.nagaoka-id.ac.jp/about/graduate-school/innopro/>をご覧ください。いのプロは、現役の大学院生が長岡市の地域おこし協力隊員となり、長岡の地域課題や行政ミッションに寄与する活動を通じて修士研究を行います。



既存のモノやコト、概念を壊し、
新たな価値を創り、実践できる「場」が大学院です。



留学

新しいアイデアを実現するためにはプロトタイプ（試作品）を製作し、検証を繰り返すことが重要です。大学院生は3Dプリンター等のプロトタイピングツールを優先的に利用できます。



プロトタイピング



大学院に在籍したまま休学することなく、半年から1年間の留学が可能です。提携しているデザイン分野の専門大学で、現地教員の指導のもと最先端の研究活動に取り組むことができます。

※不測の事態により、実施が難しい場合があります。



地域特別プロジェクト演習

長岡造形大学大学院では、社会人、外国人留学生を含む多様な学生を受け入れています。入学試験の詳細はホームページをご覧ください。

教員紹介

学長

馬場 省吾
Baba, Shogo



専門分野／金属工芸（鍛金造形） 現在の研究課題／金属工芸技法による、素材と造形の展開、及びその可能性
学歴等＋資格／東京藝術大学大学院美術研究科鍛金専攻修士課程修了 学位／修士（美術）

デザイン学科

阿部 充夫
Abe, Mitsuo

教授



専門分野／写真 現在の研究課題／写真を使用した画像表現、カラーマネージメント 学歴等＋資格／東京写真専門学校商業写真科

デザイン学科

天野 誠
Amano, Makoto

教授



専門分野／グラフィックデザイン（エディトリアルデザイン） 現在の研究課題／エディトリアルデザイン 学歴等＋資格／専門学校桑沢デザイン研究所グラフィックデザイン研究科

デザイン学科

**アンドリュー
バン ゴーサム**
Andrew Van Goethem

教授



専門分野／TESOL- Teaching English to Speakers of Other Languages
現在の研究課題／Fossilization : "Empty Categories" Assisting, Larry Selinker (England)
学歴等＋資格／TESOL, Temple University, Tokyo, Japan 1998 学位／Masters Degree

デザイン学科

菊池 加代子
Kikuchi, Kayoko

教授



専門分野／テキスタイルデザイン（織） 現在の研究課題／ダマスク織機を用いた作品制作、柘尾紬アーカイブの構築、「長岡造形大学草木染色図鑑」作成、馬毛織復元研究 学歴等＋資格／多摩美術大学デザイン科染織専攻学位／学士（芸術）

デザイン学科

境野 広志
Sakaino, Hiroshi

教授



専門分野／工業デザイン 現在の研究課題／地域のパートナーシップデザイン 学歴等＋資格／千葉大学大学院工学研究科修士課程修了 学位／修士（工学）

デザイン学科

鈴木 均治
Suzuki, Kinji

教授



専門分野／テキスタイルデザイン（染色） 現在の研究課題／型紙捺染におけるマチエールの研究 学歴等＋資格／東京造形大学造形学部デザイン学科 学位／学士（造形）

デザイン学科

土田 知也
Tsuchida, Tomoya

教授



専門分野／工業デザイン 現在の研究課題／プロダクトデザイン全般、中小企業におけるデザインの導入について 学歴等＋資格／千葉大学大学院工学研究科修士課程学位／修士（工学）

デザイン学科

長瀬 公彦
Nagase, Kimihiko

教授



専門分野／グラフィックデザイン、イラストレーション、ヴィジュアル・アート 現在の研究課題／視覚表現の可能性の探求 学歴等＋資格／東京藝術大学美術学部デザイン科、School of Visual Arts, Fine Art 科 (N.Y., U.S.A) 学位／学士（芸術）、Bachelor of Fine Art

デザイン学科

増田 譲
Masuda, Yuzuru

教授



専門分野／プロダクトデザイン 現在の研究課題／3DCAD 3D プリンターを活用したパーソナル・ファブリケーション、新しい3D入力デバイスの研究 学歴等＋資格／多摩美術大学デザイン科立体デザイン専攻プロダクト専修卒業、慶応義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程中退 学位／学士（芸術）

デザイン学科

松本 明彦
Matsumoto, Akihiko

教授



専門分野／写真 現在の研究課題／写真を用いたアート表現 学歴等＋資格／武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程修了 学位／学士（造形）、博士（メディアデザイン学）

デザイン学科

水川 毅
Mizukawa, Takeshi

教授



専門分野／広告、マーケティング 現在の研究課題／企業のDX（デジタル・トランスフォーメーション） 学歴等＋資格／東京大学大学院学際情報学府修士課程修了、東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程単位取得退学 学位／修士（学際情報学）

デザイン学科

山本 敦
Yamamoto, Atsushi

教授



専門分野／グラフィックデザイン、広告全般、ブランディング 現在の研究課題／地域資源を活用したブランディングデザインの可能性の探求 学歴等＋資格／専門学校桑沢デザイン研究所グラフィックデザインⅡ科

デザイン学科

山本 信一
Yamamoto, Synichi

教授



専門分野／映像・メディアアート 現在の研究課題／映像の空間的拡張と社会実装、電子音楽、ポップカルチャーと映像の関係 学歴等＋資格／東北工業大学工業意匠学科 学位／学士（工学）

デザイン学科

**ヨールグ
ビューラ**
Jörg Bühler

教授



専門分野／映像、マルチメディア、アート 現在の研究課題／1. 映像とアニメーション、アートの制作、2. 上映会場を含めてアートや文化スペースの設置 学歴等＋資格／バーゼル美術学校芸術教育専攻（スイス）、高等芸術教員免許取得 学位／Masters Degree

デザイン学科

池田 享史
Ikeda, Takafumi

准教授



専門分野／アートディレクション・広告など 現在の研究課題／デザインと創造、ソーシャルデザインについて 学歴等＋資格／武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科 学位／学士（造形）

デザイン学科

金澤 孝和
Kanazawa, Takakazu

准教授



専門分野／プロダクトデザイン 現在の研究課題／プロダクトデザイン・必然から導かれるデザインの在り方について、小規模伝統産地の活路を開くために最適な支援システムの構築 学歴等＋資格／東京造形大学造形学部デザイン学科 学位／学士（造形）

デザイン学科

金山 正貴
Kanayama, Masaki

准教授



専門分野／プロダクトデザイン、インタラクションデザイン・ユニバーサルデザイン 現在の研究課題／UXデザインプロセスと情報機器・ロボットデザイン 学歴等＋資格／千葉大学工学部工業意匠学科、東京大学大学院学際情報学府先端表現情報学博士課程在学中 学位／学士（工学）

デザイン学科

金石 浩一
Kaneishi, Koichi

准教授



専門分野／ファッションデザイン 現在の研究課題／現代におけるファッションというカテゴリーの新しい表現。 学歴等＋資格／文化服装学院デザイン専攻科 学位／専門士（服飾）

デザイン学科

川和 聡
Kawawa, Satoshi

准教授



専門分野／プロダクトデザイン 現在の研究課題／魅力ある移動体験を創出するモビリティデザインの探究及び機能とデザインの融合による本質的な魅力表現研究 学歴等＋資格／横浜国立大学教育学部美術学科 学位／学士（教育）

デザイン学科

吉川 賢一郎
Kikkawa, Kenichiro

准教授



専門分野／グラフィックデザイン 現在の研究課題／ヴィジュアルコミュニケーションデザインに於ける機能美と形態美の探究、本質を見極めたヴィジュアルアイデアの発想と表現についての研究、地域におけるブランディングデザインの効果的な活用についての研究 学歴等＋資格／多摩美術大学美術学部デザイン科グラフィックデザイン専攻 学位／学士（芸術）

デザイン学科

金 峯洙
Kim, Bongsu

准教授



専門分野／グラフィックデザイン、紋章・しるし文化 現在の研究課題／伝統的なしるし文化に基底した地域の内発的発展の探求 学歴等＋資格／千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻博士課程 学位／博士（学術）

デザイン学科

徳久 達彦
Tokuhisa, Tatsuhiko

准教授



専門分野／コミュニケーションデザイン、企画、UI、UX、Web デザイン 現在の研究課題／コミュニケーションで誰かの世界をHAPPYに更新する提案 学歴等＋資格／デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科 デジタルコンテンツ専攻 学位／修士（デジタルコンテンツマネジメント）

デザイン学科

平原 真
Hirahara, Makoto

准教授



専門分野／メディアアート、インタラクションデザイン 現在の研究課題／電子制御機械による生き物らしさの模索 学歴等＋資格／長岡造形大学造形学部産業デザイン学科視覚デザインコース 学位／学士（造形）

デザイン学科

真壁 友
Makabe, Tomo

准教授



専門分野／デジタルファブリケーション、メディアアート 現在の研究課題／デジタルファブリケーション、メディアアート、キネティックアート 学歴等＋資格／東北学院大学大学院工学研究科応用物理学専攻 学位／修士（工学）



Web マガジン
NID Focus

教員の活動や
学生との取り組みなど

デザイン学科

御法川 哲郎
Minorikawa, Tetsuro

准教授



専門分野／グラフィックデザイン、イラストレーション、ポスターアート 現在の研究課題／書籍・雑誌における装画・挿絵の表現、ポスターにおけるグラフィック表現 学歴等＋資格／多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 学位／学士（芸術）

デザイン学科

山田 博行
Yamada, Hiroyuki

准教授



専門分野／写真映像 現在の研究課題／写真的アプローチの映像表現の探求。ドローンのフライトプランによる空中モーションコントロールシステムにおける映像合成技術と視覚表現の可能性。 学歴等＋資格／武蔵野美術大学造形学部映像学科 学位／学士（造形）

デザイン学科

伊達 亘
Date, Wataru

助教



専門分野／メディアデザイン、デザインリサーチ 現在の研究課題／マテリアルを前景化させる表現の探索および表現手法の開発、日常とあそびの境界を曖昧にするあそびのデザインリサーチ 学歴等＋資格／多摩美術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻 情報デザイン領域 博士前期課程、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 エクス・デザインプログラム 後期博士課程 単位取得満期退学 学位／修士（芸術）、博士（政策・メディア）

美術・工芸学科

市川 治郎
Ichikawa, Jiro

教授



専門分野／美術教育、彫刻制作、学校経営 現在の研究課題／これからの芸術教育、美術館と学校の連携、彫刻で伝えるところ 学歴等＋資格／東京学芸大学教育学部 学位／学士（教育）

美術・工芸学科

遠藤 良太郎
Endo, Ryotaro

教授



専門分野／絵画 現在の研究課題／絵画と言語。藝術の役割、社会と人類について。絵画論。 学歴等＋資格／東京藝術大学大学院博士課程（後期）美術研究科絵画専攻（油画） 学位／博士（美術）

美術・工芸学科

菅野 靖
Kanno, Yasushi

教授



専門分野／「彫金」 現在の研究課題／「彫金」って？ 学歴等＋資格／東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修了 学位／修士（美術）

美術・工芸学科

竹田 進吾
Takeda, Shingo

教授



専門分野／教育学、教育制度論、カリキュラム論、教育方法論、社会科教育 現在の研究課題／明治期歴史教科書史、授業における ICT 活用、戦後学校給食制度史、美術科教育 学歴等＋資格／東北大学大学院教育学研究科 博士課程後期 学位／博士（教育学）

美術・工芸学科

岡谷 敦魚
Okanoya, Atsuwo

准教授



専門分野／油彩、版画（銅版、リトグラフ、木版、シルクスクリーン） 現在の研究課題／版画の新しい可能性 "Printerly" 概念の研究 学歴等＋資格／武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画コース銅版画専攻、東京藝術大学大学院 美術研究科 芸術学美術教育専攻 学位／修士（美術）

美術・工芸学科

小林 花子
Kobayashi, Hanako

准教授



専門分野／彫刻 現在の研究課題／木を基本素材とした立体表現の探求、美術の社会へのかかわりと可能性の探求 学歴等＋資格／武蔵野美術大学造形学部彫刻学科、愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了 学位／修士（芸術）

美術・工芸学科

中村 和宏
Nakamura, Kazuhiro

准教授



専門分野／ガラス工芸 現在の研究課題／持続可能な社会に於ける、廃ガラス素材による、造形からの展開と可能性の探求 学歴等＋資格／財団法人金沢卯辰山工芸工房 工房技術研究員

美術・工芸学科

長谷川 克義
Hasegawa, Katsuyoshi

准教授



専門分野／金属工芸（鋳金） 現在の研究課題／鋳金技法による器物造形の探求および古代鋳造技術の研究 学歴等＋資格／東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻（鋳金）修了 学位／修士（美術）

美術・工芸学科

藪内 公美
Yabuuchi, Kumi

准教授



専門分野／金属工芸（鍛金） 現在の研究課題／鍛金技法による金属造形表現、湯床拭き技法による金属材料の可能性、アート視点による創造性を探る研究 学歴等＋資格／金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士後期課程美術工芸専攻工芸研究領域金工分野（鍛金）修了 学位／博士（芸術）

建築・環境デザイン学科

佐藤 淳哉
Sato, Junya

教授



専門分野／建築設計 現在の研究課題／建築における木文化の実践的探求 学歴等＋資格／早稲田大学大学院理工学研究科修士課程、一級建築士 学位／修士（工学）

建築・環境デザイン学科

菅原 浩
Sugahara, Hiroshi

教授



専門分野／比較文化論、表象文化論 現在の研究課題／東西思想の比較研究、哲学と文学の融合的表現、外国語学習法 学歴等＋資格／東京大学大学院総合文化研究科比較文学・比較文化専攻博士課程 学位／修士（学術）

建築・環境デザイン学科

平山 育男
Hirayama, Ikuo

教授



専門分野／建築史 現在の研究課題／住居史、民家史、近世社寺建築、近代建築技術史、文化財の保存・修復 学歴等＋資格／早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻博士課程 学位／博士（工学）、博士（造形）

建築・環境デザイン学科

森 望
Mori, Nozomu

教授



専門分野／ディスプレイデザイン 現在の研究課題／展示デザインの基礎データに関する研究 学歴等＋資格／多摩美術大学美術学部建築科、一級建築士 学位／学士（芸術）

建築・環境デザイン学科

山下 秀之
Yamashita, Hideyuki

教授



専門分野／建築意匠 現在の研究課題／るくるまるくる研究、および里環（里山×里川×里海）での建築展開 学歴等＋資格／独シュテール造形芸術大学建築学科、東京工業大学大学院修士課程修了、一級建築士事務所山下研究室共同主宰 学位／修士（工学）

建築・環境デザイン学科

渡邊 誠介
Watanabe, Seisuke

教授



専門分野／都市計画・観光とまちおこし 現在の研究課題／発展途上国都市計画理論、地方中小都市の中心市街地活性化、観光とまちおこし 学歴等＋資格／東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程 学位／博士（工学）

建築・環境デザイン学科

柏原 信幸
Kashiwabara, Nobuyuki

准教授



専門分野／エコロジカル・ランドスケープ 現在の研究課題／人と自然の関わり方 学歴等＋資格／南九州大学園芸学部造園学科 学位／学士（農学）

建築・環境デザイン学科

北 雄介
Kita, Yusuke

准教授



専門分野／建築・都市計画 現在の研究課題／都市の様相論、街歩き、デザインプロセス論 学歴等＋資格／京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程、一級建築士、宅地建物取引士 学位／博士（工学）

建築・環境デザイン学科

津村 泰範
Tsumura, Yasunori

准教授



専門分野／建造物保存再生計画・設計、近現代建築・都市史 現在の研究課題／建築保存継承技術・手法・制度・理念、文化財や歴史的建造物を活かしたまちづくり、リノベーションまちづくり 学歴等＋資格／東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了、一級建築士・既存住宅状況調査技術者 学位／修士（工学）

建築・環境デザイン学科

羽原 康成
Habara, Yasunari

准教授



専門分野／建築設計、インテリアデザイン、環境心理学、地域研究 現在の研究課題／環境配慮的な社会を目指す活動に関する研究、建築空間やインテリア及び植物が人間の意識や行動に与える影響に関する研究、空間を使う人間の意識や行動に配慮した計画のあり方に関する研究、他 学歴等＋資格／京都府立大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻博士後期課程 研究指導・単位取得認定退学、一級建築士 学位／博士（学術）

建築・環境デザイン学科

福本 壘
Fukumoto, Rui

准教授



専門分野／コミュニティデザイン、防災まちづくり、教育方法と教材の開発 現在の研究課題／人をつなぐ方法論、企業貢献、都市をとくす空き空間の活用と再生 学歴等＋資格／東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了 専門社会調査士 学位／博士（工学）、修士（環境学）

建築・環境デザイン学科

与那嶺 仁志
Yonamine, Hitooshi

准教授



専門分野／建築構造 現在の研究課題／構造デザイン、空間構造、トータル・デザイン 学歴等＋資格／日本大学理工学部建築学科卒業 一級建築士・構造設計一級建築士 学位／博士（工学）

大学院

小松 佳代子
Komatsu, Kayoko

教授



専門分野／教育哲学、美術教育 現在の研究課題／Arts-Based Research、美術教育と市民性教育、制作者の理論研究方法論 学歴等＋資格／東京大学大学院教育学研究科博士課程 単位取得退学 学位／博士（教育学）

大学院

板垣 順平
Itagaki, Jumpei

准教授



専門分野／デザイン思考、サービスデザイン、人間中心デザイン、デザイン人類学、地域連携 現在の研究課題／地域連携における Design Based Learning の実践、経験知を基盤とするデザイン思考を活用した問題発見・解決プロセスの構築、開発途上国におけるデザインプロセスを活用した持続可能な開発の実践 学歴等＋資格／大阪芸術大学大学院芸術文化学専攻後期課程修了 学位／博士（芸術文化学）

大学院

森本 康平
Morimoto, Kohei

准教授



専門分野／デジタルファブリケーション、プロトタイピング、マテリアル工学、エコデザイン 現在の研究課題／地域のバイオマス資源を活用した積層造形技術に関する研究、粘土 3D プリンターを活用した積層造形技術に関する研究、パーソナルファブリケーション普及のためのデザインツールに関する研究 学歴等＋資格／東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻修士課程 学位／修士（工学）

名誉教授

上山 良子
鎌田 豊成
川崎 晃義
木村 勉
熊井 恭子
洪 起
後藤 哲男
小林 誠
豊口 協
平井 邦彦
森田 守
宮澤 智士
和田 裕

客員教授

伊藤 滋
隈 研吾
宮田 亮平
渡邊 定夫

総合型選抜

募集定員	造形学部 60 人 (デザイン学科 39 人、美術・工芸学科 8 人、建築・環境デザイン学科 13 人) 上記定員のうち地域優先枠 9 人 (学科不問) 優先枠についてはページ最下段参照
出願期間	2023 年 9 月 8 日 (金) - 15 日 (金)
試験日	1 次試験: 2023 年 10 月 1 日 (日) 2 次試験: 2023 年 10 月 22 日 (日)
選抜方法	1 次試験: 出願書類 (志望理由書、自己アピール用紙)、課題制作 (150 分) を総合して判定する 2 次試験: 人物評価 (面接、調査書)、1 次試験結果による総合評価
合格発表	1 次試験: 2023 年 10 月 6 日 (金) 2 次試験: 2023 年 11 月 1 日 (水)

※大学入学共通テストは課しません

学校推薦型選抜

募集定員	造形学部 40 人 (デザイン学科 26 人、美術・工芸学科 5 人、建築・環境デザイン学科 9 人) 上記定員のうち地域優先枠 5 人 専門高校優先枠 4 人、本学同系統優先枠 4 人 (学科不問)
出願期間	2023 年 11 月 8 日 (水) - 14 日 (火)
試験日	2023 年 11 月 25 日 (土) (美術・工芸学科、建築・環境デザイン学科) 2023 年 11 月 26 日 (日) (デザイン学科)
出願資格	次の条件をすべて満たす者 ①高等学校もしくは中等教育学校を 2024 年 3 月卒業見込みの者、または通常の課程による 12 年の学校教育を 2024 年 3 月修了見込みの者 ②学校長の推薦を受けた者 ③調査書における「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者 ※高等学校単位の出願数制限はありません
選抜方法	提案書 (文章と図・絵による)、人物評価 (面接、調査書)、出願書類 (志望理由書、自己アピール用紙) による総合評価
合格発表	2023 年 12 月 1 日 (金)

※大学入学共通テストは課しません

一般選抜

試験科目は次ページ「2024 年度 一般選抜 科目選択・配点表」参照

【前期日程】

募集定員	前期日程 造形学部 100 人 (デザイン学科 65 人、美術・工芸学科 13 人、建築・環境デザイン学科 22 人) 選択区分 (選択 A、選択 B) 別定員設定はありません 上記定員のうち地域優先枠 4 人 (学科不問)
出願期間	2024 年 1 月 22 日 (月) - 2 月 2 日 (金)
試験日	2024 年 2 月 25 日 (日)
選抜方法	大学入学共通テスト、個別試験、出願書類 (調査書※・自己アピール用紙) の成績を合計して判定 ※調査書が発行されない受験生においては自己アピール用紙を 20 点とします
合格発表	2024 年 3 月 2 日 (土)

【中期日程】

募集定員	中期日程 造形学部 30 人 (デザイン学科 20 人、美術・工芸学科 4 人、建築・環境デザイン学科 6 人) 上記定員のうち地域優先枠 2 人 (学科不問)
出願期間	2024 年 1 月 22 日 (月) - 2 月 2 日 (金)
試験日	2024 年 3 月 8 日 (金) 美術・工芸学科、建築・環境デザイン学科 2024 年 3 月 9 日 (土) デザイン学科
選抜方法	大学入学共通テスト、学科別個別試験の成績を合計して判定
合格発表	2024 年 3 月 20 日 (水)

優先枠について

地域優先枠: 長岡地域定住自立圏 (長岡市、小千谷市、見附市、出雲崎町) 内高等学校在籍 (卒業) 者または長岡地域定住自立圏在住者の優先枠
専門高校優先枠: 工業、商業、農業等の専門教育を主とする学科在籍者の優先枠
本学同系統優先枠: デザイン、美術、建築等、本学と同系統の専門教育を行う科、コース在籍者の優先枠 (調査書の学科欄で確認できる場合に限る)

1 次試験

課題制作	+	出願書類
------	---	------

2 次試験

人物評価	+	1 次試験結果
------	---	---------

提案書 (文章と図・絵による)	+	出願書類
人物評価		

※「提案書」(文章と図・絵による) は本学で実施する試験科目の名称です。試験内容は「2024 年度長岡造形大学入学試験模擬問題」参照

前期日程

大学入学 共通テスト	+	個別試験
出願書類		

中期日程

大学入学 共通テスト 国語、英語	+	学科別 個別試験
面接		

一般選抜 科目選択・配点表

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目等					個別試験		出願書類	合計
	教科	科目等	配点	得点換算、条件等	科目	配点			
前期日程	選択 A	国語	「国語」	出願時に 2 科目を 選択する ただし、 数学から は 1 科目 のみ	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)	「平面構成」 「鉛筆描写」 から 1 科目 選択	300 点	調査書※ 10 点 自己アピール用紙 10 点	520 点
		外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て	リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)					
		数学	「数学Ⅰ・数学 A」または 「数学Ⅱ・数学 B」どちらか 1 科目	1 科目 100 点 合計 200 点	100 点				
	選択 B	国語	「国語」	必須 1 科目 100 点 合計 200 点	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)	「提案書」 (文章と図・絵に よる)	100 点	調査書※ 10 点 自己アピール用紙 10 点	520 点
		外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て		リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)				
		地理歴史	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」	得点上位 2 科目を 大学が選 択する 200 点	100 点 第 1 解答科目に限る				
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・ 経済」「倫理、政治・経済」		100 点				
					100 点				
		数学	「数学Ⅰ・数学 A」		100 点				
			「数学Ⅱ・数学 B」		100 点				
	理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	100 点 2 科目の合計点を 1 科目分 として扱う						
「物理」「化学」「生物」「地学」		100 点 第 1 解答科目に限る							
中期日程	全学科共通必須科目	国語	「国語」	全学科 必須 1 科目 100 点 合計 200 点	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)	「面接」	200 点		500 点
		外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て	リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)					
	+								
	学科別試験	学科	大学入学共通テスト			個別試験			
		デザイン 学科	得点上位 1 科目を 大学が選択する (前期日程 選択 B の科目表 のうち * を付した枠内の科 目に限る)	100 点	地理歴史、公民及び基礎を 付さない理科については第 1 解答科目に限る 基礎を付した理科は 2 科目の 合計点を 1 科目分として扱う	—	—		
						—	—		
		美術・工芸 学科	—	—	—	「デッサン」 「立体造形」(粘土) から 1 科目選択	100 点		
建築・環境 デザイン 学科	数学 「数学Ⅰ・数学 A」 「数学Ⅱ・数学 B」 から 1 科目を出願時に選択	100 点	100 点	—	—				

※調査書が発行されない受験生においては、自己アピール用紙を 20 点とします

※大学入学共通テストで本学が利用する教科・科目を受験していない場合は、本学を受験できません

2025 年度入試について

新学習指導要領に対応した大学入学共通テストの利用教科・科目は次のとおりです。
なお、総合型選抜、学校推薦型選抜では、従来どおり大学入学共通テストは課しません。

高校 2 年生
以下の方は
こちらの科目

2025
年度

一般選抜 科目選択・配点表

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別試験		出願書類	合計			
	教科	科目等	配点	得点換算、条件等	科目	配点					
前期日程	選択 A	国語	「国語」	出願時に 2 科目を 選択する ただし、 数学から は 1 科目 のみ	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)		「平面構成」 「鉛筆描写」 から 1 科目 選択	300 点	調査書※ 10 点 自己アピール用紙 10 点	520 点	
		外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て		リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)						
		数学	「数学Ⅰ、数学A」または 「数学Ⅱ、数学B、数学C」の どちらか1科目		100 点						
	選択 B	国語	「国語」	必須 1 科目 100 点 合計 200 点	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)		「提案書」 (文章と図・絵に よる)	100 点	調査書※ 10 点 自己アピール用紙 10 点	520 点	
		外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て		リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)						
		地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合、歴史総合、公共」	得点上位 2 科目を 大学が選 択する 200 点	100 点 第 1 解答科目に限る						
		数学	「数学Ⅰ、数学A」		100 点						
			「数学Ⅱ、数学B、数学C」		100 点						
		理科	「物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎」		第 1 解答 科目 に限 る	100 点 2 科目の合計点を 1 科目分として扱う					
			「物理」「化学」 「生物」「地学」			100 点					
		情報	「情報Ⅰ」		100 点						
	中期日程	全学科共通必須科目	国語	「国語」	全学科 必須	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)		「面接」	200 点	—	500 点
			外国語	「英語」 リーディング、リスニング 全て		リーディング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する) リスニング 50 点 (100 点満点を 50 点満点に換算する)					
		+									
学科別試験		学科	大学入学共通テスト			個別試験					
		デザイン 学科	得点上位 1 科目を 大学が選択する (前期日程 選択 B の科目表 のうち*を付した枠内の科 目に限る)	100 点	地理歴史、公民及び理科につ いては第 1 解答科目に限る 基礎を付した理科は 2 科目 の合計点を 1 科目分として 扱う	—	—				
		美術・工芸 学科	—	—	—	「デッサン」 「立体造形」(粘土) から 1 科目選択	100 点				
		建築・環境 デザイン 学科	数学 「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 から1科目を出願時に選択	100 点	100 点	—	—				

※調査書が発行されない受験生においては、自己アピール用紙を 20 点とします
※大学入学共通テストで本学が利用する教科・科目を受験していない場合は、本学を受験できません

NID へのアクセス



自動車

長岡ICからNIDへのアクセス

国道8号を長岡市内（北）へ向かい、車で約5分。蓮潟（はすがた）交差点を左折、次の信号を右折。

公共交通機関

JR長岡駅へのアクセス

新潟駅から 上越新幹線で約 20 分
新潟空港から 路線バス 新潟駅経由 上越新幹線で約 60 分（新潟空港から定期便運航都市 札幌、名古屋、大阪、福岡、那覇）
東京駅から 上越新幹線で約 90 分

JR長岡駅からNIDへのアクセス

大手口 2 番バス乗り場から「江陽環状線」または「江陽団地行き」に乗車、約 15 分。「長岡造形大学前」下車、徒歩約 1 分。

NIDの最新情報

メールマガジン
「ながめ〜る」



相談会
入試情報など

Twitter
@N_I_D



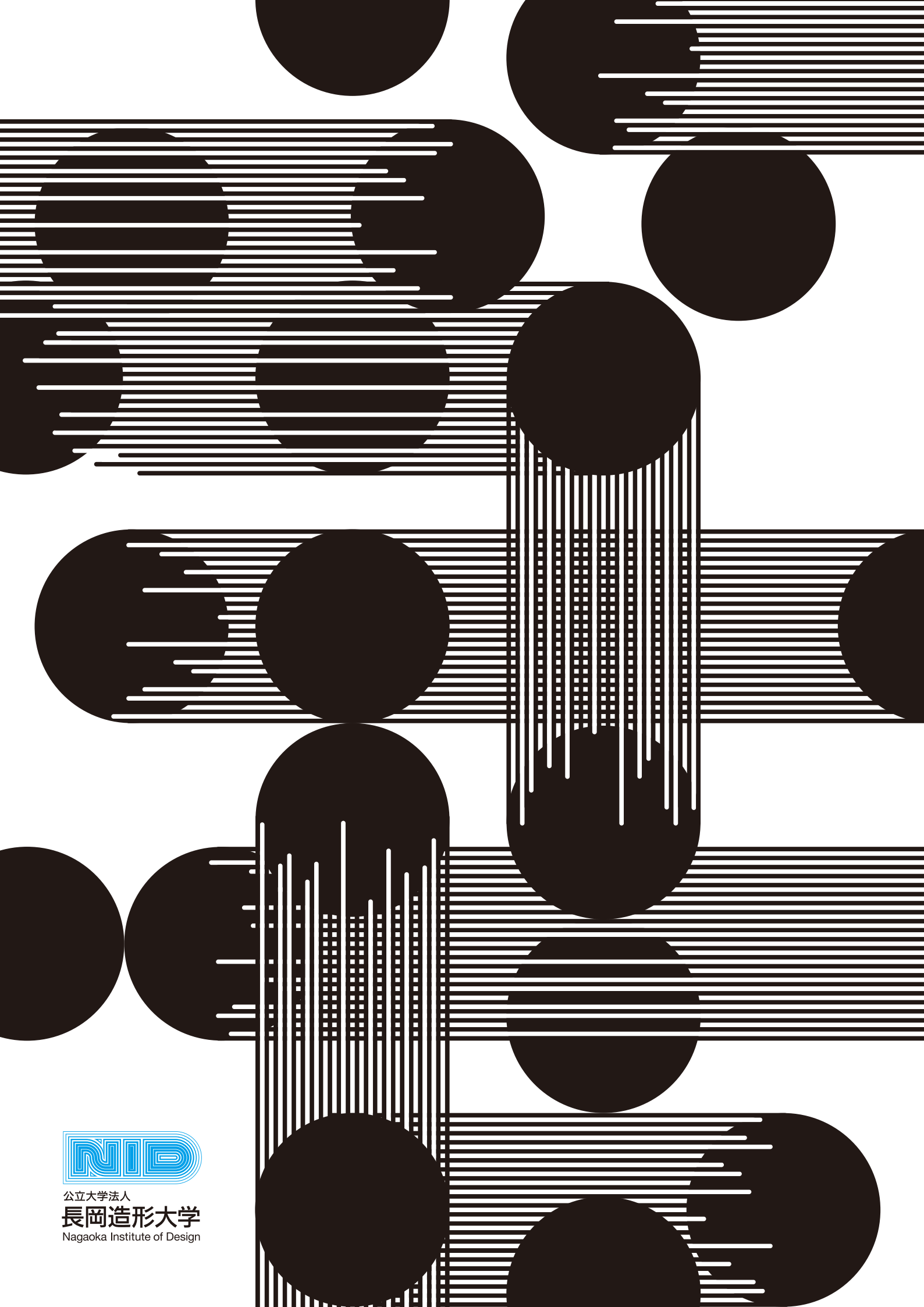
お知らせ
日常など

長岡造形大学 入試広報課／〒 940-2088 新潟県長岡市千秋 4 丁目 197 番地
Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3956 E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp

※本書の図版及び文章の無断転載を禁じます。
© 2023 Nagaoka Institute of Design

<https://www.nagaoka-id.ac.jp/>





公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design